

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」

事業効果検証用資料

(令和3年度中間評価：令和3年9月30日現在)

令和3年11月24日

長和町企画財政課

■本資料について

・本資料は、第2期長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略（計画期間：令和2年度から令和6年度）における令和3年度中間評価のための資料として、総合戦略の各項目に関する令和3年9月30日現在の取り組み状況まとめたものです。

・重要業績評価指標（KPI）の「R3実績」は令和3年9月30日時点です。

・「取り組み事業」欄の「R2年度事業費」は令和2年度の決算額、「R3年度事業費」は令和3年度の予算額です。

・「地方創生への効果」欄は、下記の①から⑤のいずれかが選択されています。

①地方創生に非常に効果的であった

例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合

②地方創生に相当程度効果があった

例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合

③地方創生に効果があった

例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合

④地方創生に対して効果がなかった

例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

⑤未実施

例：事業が実施できていない場合

・「今後の取り組み方針」欄は、下記の①から⑤のいずれかが選択されています。

①事業の展開の将来性が高いので強化して実施

②事業を現行（計画）どおり継続して実施

③事業内容を見直して実施

④とりやめ

⑤予定どおり終了

【目次】

基本目標	主な施策	頁
基本目標1	(ア) 特産品開発等による雇用の創出	1~5
	(イ) 雇用創出のための企業誘致、働く場所の確保	6

	(ウ) 雇用創出・人材定着に関する企業への支援	7~8
	(エ) 新規就農者の確保	9~10
	(オ) 商工業の発展促進	11
	(カ) 企業情報発信の強化	12
	(キ) 起業支援体制の充実・事業者の育成	13~14
	(ク) 森林環境譲与税を活用した森林整備の促進による林業者への支援	15~16
基本目標 2	(ア) 地域資源を活かした観光振興による交流人口の増大	17~21
	(イ) 空き家の活用による交流人口の増大	22~26
	(ウ) 若い世代の定住人口増大のための支援	27~28
	(エ) 国際交流の推進による交流の活発化と人材育成	29~30
	(オ) 情報発信体制の強化	31~34
基本目標 3	(ア) 結婚支援体制の充実（「婚活」支援）	35~36
	(イ) 子育てするための環境や支援の充実	37~52
基本目標 4	(ア) 協働のまちづくりの推進	53
	(イ) 安全・安心なまちづくり	54~56
	(ウ) 時代に適合した公共施設の整備・あり方の検討	57~59
	(エ) 時代に対応した公共交通網の検討	60~61
	(オ) 健康長寿のまちづくりと生活を支える仕組みの充実	62~68
	(カ) 医療体制の維持	69~70
	(キ) 安心な暮らしを守るための空き家対策	71
	(ク) 道の駅マルメロの駅ながと、和田宿ステーションの魅力向上	72~74
	(ケ) 時代に合った別荘地づくり	75~76
	(コ) ふるさと納税制度の活用	77
	(サ) コミュニティ施設の整備による地域共生社会の実現とSDGsの実践	78~79

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	1-1
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標1 (ア)特産品開発等による雇用の創出	事業担当課・係	産業振興課農政係					
総合戦略記載内容	①東京農業大学との連携により開発した特産品の販路拡大、知名度向上に取り組みます。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	東京農業大学と連携して開発した特産品を活用した販路拡大、知名度向上等施策	施策の実施	(R6時点)	未実施	未実施			
	【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 コロナ禍により東京農大との協議が全く進んでいないため、具体的な取組目標及び成果未定							
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	東京農業大学と連携して開発した特産品を活用した販路拡大、知名度向上等事業							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	前期地方創生事業で開発・復活した「長和のトマト」を中心に、東京農業大学との連携事業である「山村再生プロジェクト」で開発した特産品を活用した地元道の駅や商店での販売及び原材料である加工用トマトを中心とした農作物の生産振興を図る。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大により、山村再生プロジェクト実習が一度も行えなかった。また、令和3年度については1回しか山村再生プロジェクト実習が行えておらず、リモートでの打合せ会議等しか行っていない。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R4年度事業費		千円	主な支出内容					
R5年度事業費		千円	主な支出内容					
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
山村再生プロジェクトは、当町へお越しいただいて「実学」で実習を行うことを最も重要な目的としているため、実習が行えなかったことで事業の成果は上がっていないが、リモートなどで打合せを重ね、新型コロナ感染拡大が終息した後、計画どおり事業を遂行したいと考えている。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果		今後の取り組み方針						
③地方創生に効果があった		③事業内容を見直して実施						
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
実習の実施方法の再考や少人数、密を避ける等の感染予防に努めながら、山村再生プロジェクトの進め方を含め、先生方や学生委員会のメンバーとも綿密な打合せを行いながら事業推進する。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	③事業内容を見直して実施
委員からの意見	・JAとして農業を盛り上げていく取り組みの中で、組合の皆さまから販路の拡大の相談、要望がある。そのような中で、町と東京農大の連携に感謝しているが、コロナの関係で事業を進めることが難しいと思う。JAも協力して進めていきたいと考えている。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	1-2
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標1 (ア)特産品開発等による雇用の創出	事業担当課・係	産業振興課特産品開発係・農政係
総合戦略記載内容	②この地域に伝統的に伝わる、あるいは気候風土に合致する可能性のある様々な地域資源に、地域の様々な団体とも連携しながら、多方面からアプローチし、特産品としての掘り起こしを図るとともに、質の高い奨励品に関する認定制度の創設を目指します。あわせて、千曲川ワインバレー特区に関連する市町村と連携しながら、ワイン産業プロジェクト展開事業を実施し、ワインを活用した地域振興を目指します。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
長和町奨励品数	118品目	(R6時点)	106品目	106品目			
試験委託醸造本数	500本	(5年累計)	累計0本	累計0本			

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	奨励品認定事業		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	特産品の掘り起こしとして、毎年度3品目程度の認定(令和6年度に118品目の認定)を目標に据える。また、長和町特産品既奨励品を含め物産展への出展機会を作るため、商工会を中心としたイベント支援を行うとともに、既奨励品の磨き上げを支援しながら、質の高い奨励品の認定制度に関しても検討を行っていく。奨励品QRコード付ポスターを各所に設置する。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	令和2年度は2団体4品目を認定し、これまでに28団体106品目の認定をした。令和3年度においては1団体1品目の認定申請が上がっており、11月に認定審査会を開催する予定。		
R2年度事業費	310 千円	主な支出内容	奨励品審査委員会開催経費、物産品展支援補助経費
R3年度事業費	593 千円	主な支出内容	奨励品審査委員会開催経費、物産品展支援補助経費
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	ワイン産業プロジェクト展開事業(事業実施体制及び内容の検討、委託醸造等)		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	委託醸造200本、圃場整備重機借上げ等により育成環境整備、電気柵、ワナ設置、鹿柵修繕による獣害対策の実施。委託醸造品の試飲、成果発表イベントを開催し、内外に宣伝を行う。併せて収穫量の安定を図ることにより増産、販路模索を検討する。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	圃場の確保、整備、育成までを実施。令和2年度は委託醸造を実施する予定だったが、収穫直前にハクビシンに全て食べられてしまい叶わなかった。その他、鹿柵設置及び修繕を重ねる鹿による獣害にはかなり効果があった。ハクビシン対策として電気柵・ワナを設置作業中。		
R2年度事業費	1,600 千円	主な支出内容	ワイン特区連絡協議会との連携負担金、ワイン産業プロジェクト委員会補助金
R3年度事業費	1,600 千円	主な支出内容	ワイン特区連絡協議会との連携負担金、ワイン産業プロジェクト委員会補助金
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)

総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】

- ①奨励品認定事業のメリットが薄く事業者からの認定要望が出にくい状況があり伸び悩んでいる。魅力となるメリットが必要で認定事業の再構築が課題。他自治体視察等により研究を重ねる。
- ②ワインぶどう圃場に獣害対策として電気柵、ワナの設置を行い令和3年度こそ試験醸造を実現する。

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き年3品目の認定を実現し、かつ奨励品認定制度の再構築と宣伝活動として直売所を中心に奨励品QRコード付きポスターの掲示を行う。 ・ワイン産業プロジェクト展開事業は、委託醸造するぶどうの確保を行うと共に、鹿以外の鳥獣対策を来年度に向けて検討、実施する。 	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣はハクビシンと鹿とのことだが、熊もワインぶどうを食べてしまう。有害鳥獣の被害は広がっている。別に新規就農者確保の話が出ているが、被害が続けば就農者が町外へ出て行ってしまうことも考えられる。まずは有害鳥獣の個体数を減らすことが求められる。 ・有害鳥獣の被害は深刻な状況なので、専門的な対応をお願いしたい。 ・今後も苗を植えていこうと思うが地主と相談して、整備した環境を活かしてほしい。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	1-3
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標1 (ア)特産品開発等による雇用の創出	事業担当課・係	産業振興課特産品開発係、農政係
総合戦略記載内容	③特産品の開発のほか、これらを効果的に活用した事業実施体制や販売戦略(ブランド化等)の構築を行い、地場産業の振興と6次産業化を推進し、より多くの雇用の場を確保します。あわせて、「強い農業」、「儲かる農業」、「持続可能な農業」を構築するための施策の検討を行います。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
6次産業化事業計画新規認定件数	1団体	(5年累計)	累計0団体	累計0団体			

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	6次産業化推進事業		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	第1期期間中に地方創生推進交付金を活用した事業に取り組んだ長和雑穀研究会への開発支援を行うなど、事業者の6次産業化に向けての取り組みの支援と特産品開発事業補助金を活用した支援を行う。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	長和雑穀研究会においては、平成29年度から令和元年度に地方創生推進交付金を活用し、「稼ぐ農業」事業を展開し、機能性雑穀の生産・商品化等に取り組んだ。令和2年度には6次産業化に向けての取り組みは行われていないが、今後の6次産業化が期待される場所である。		
R2年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R3年度事業費	100 千円	主な支出内容	特産品開発事業補助金
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	「強い農業」、「儲かる農業」、「持続可能な農業」についての施策の検討		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	農業を取り巻く環境がかなり深刻な状況である中で、実際の施策の実現は困難な点もあるが、町内外の事例の研究等による検討を令和4年度以降実施していく。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	未実施		
R2年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R3年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で出てきた課題、課題の改善策)

総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】

- ・6次産業化推進事業に関し、事業者の特産品開発事業補助金制度の活用が望まれるところである。
- ・長和雑穀研究会は、平成29年度から令和元年度に地方創生推進交付金を活用した「稼ぐ農業の展開によるイキイキ煌めく地域の創造事業」により機能性雑穀の生産・商品化等に取り組む、法人化による6次産業化が期待される。活動は順調なもの感染症の影響により売上げに大きな影響があり、今後も厳しい状況が見込まれる。
- ・「強い農業」「儲かる農業」「持続可能な農業」について、農業を取り巻く環境がかなり深刻な状況の中で、実際の施策の実現は困難な点もあるが、町内外の事例の研究等による検討を令和4年度以降に実施する。

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
<p>・6次産業化推進事業は、事業者の特産品開発事業補助金制度の活用が望まれるところであり、町広報誌により制度の周知に努める。</p> <p>・「強い農業」「儲かる農業」「持続可能な農業」についての施策の検討は、事業概要にもあるとおり農業を取り巻く環境がかなり深刻な状況である中で、実際の施策の実現は困難な点もあると考えるが、町内外の事例の研究等による検討を令和4年度より実施する予定である。</p>	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	<p>・JAとして、特産品開発にも力を入れていきたい。町にも協力をお願いしたい。</p> <p>・農業を取り巻く環境がかなり深刻とのことだが、JAや農大と連携して対策を進めていただきたい。</p>

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	1-4
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標1 (イ)雇用創出のための企業誘致、働く場所の確保	事業担当課・係	産業振興課商工観光係					
総合戦略記載内容	①若い世代や子育て世代をはじめ、長和町への移住者、町内在住者の雇用を確保するため、空き家の活用も視野に入れながら、企業の誘致や雇用の拡大、良質な仕事の確保に取り組みます。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	企業誘致件数	1件	(5年累計)	累計1件	累計1件			
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	企業誘致のための情報収集、個別案件への対応							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	企業誘致は現実的に困難な状況にある。要望する企業等あれば積極的に取り組む。空き家を活用したサテライトオフィス等への誘致もあわせて取り組む。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度、2件誘致交渉していたが、1件不成立となった。また、もう1件は交渉中であるが、新型コロナウイルスの状況により滞っている。このコロナ禍で東京から地方へ移転する動きがあるなか、東京から本社を移した企業が1件あった。 令和3年度、交渉中である1件とは継続して話し合いを持っている。新たに工場立地候補地を探している企業が県を通じて照会があり、情報提供をしている。 							
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R4年度事業費		千円	主な支出内容					
R5年度事業費		千円	主な支出内容					
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
<p>企業誘致は、広い場所の提供が必要となる場合が多く、団地造成等も考えなくてはならない状況にある。このコロナ禍において、地方を求めて移転するケースが増えているため、別荘地等も含めた誘致を検討する必要がある。候補地を探している企業に対し、情報提供を続けていきたい。</p>								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果		今後の取り組み方針						
③地方創生に効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施						
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
新型コロナウイルス終息を見据え、引き続き誘致に向けた交渉を実施していく。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針			
地方創生への効果		今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
委員からの意見			

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	1-5
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標1 (ウ)雇用創出・人材定着に関する企業への支援	事業担当課・係	産業振興課商工観光係					
総合戦略記載内容	①人口減少や「売り手市場」の状況下、企業においても優秀な人材を確保することが重要な課題となっている中、雇用拡大や人材確保、人材の定着に積極的に取り組む企業等への支援を拡充します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	新規雇用促進助成金を活用して確保した人材数	20人	(5年累計)	累計2人	累計2人			
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	新規雇用促進助成金事業							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	町内の事業所による新規雇用の拡大を図るとともに、若年層の定住を促進するため、町内事業者が45歳未満の町民を正規雇用した場合に、採用した事業者に対し雇用1名につき10万円を交付する。ただし、1年以上継続して就業してはならない。令和元年度までの事業を令和2年度以降、事業を拡充し実施する。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・令和2年度、1年間継続して就業した2事業所2名に対し、助成金を交付した。令和2年度から事業を継続実施していることを商工会を通じて周知をしているところである。 ・令和3年度、現状は助成金を交付はしていない。令和2年度中に新規雇用した事業者の確認及び事業内容の周知を商工会を通じて実施している。							
R2年度事業費	200 千円	主な支出内容	新規雇用促進助成金補助 10万円×2名					
R3年度事業費	300 千円	主な支出内容	新規雇用促進助成金補助 10万円×3名					
R4年度事業費	千円	主な支出内容						
R5年度事業費	千円	主な支出内容						
R6年度事業費	千円	主な支出内容						
取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	人材確保や人材定着に関する支援策の検討(「わくわく地方生活実現パッケージ」の活用等)							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	UIJターン就業・創業移住支援事業を県と協調して国の地域再生計画の認定を受けて実施している。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	三大都市圏等から地方へ移住し、就業した世帯等へ助成をするもので、移住支援金を受給するには、企業がマッチングサイトへ登録する必要があることから、町内企業に対し、商工会を通じて登録の周知をしているところである。							
R2年度事業費	0 千円	主な支出内容						
R3年度事業費	1,600 千円	主な支出内容	UIJターン就業・創業移住支援事業補助2件(多世帯1件1,000千円、単身1件600千円)					
R4年度事業費	千円	主な支出内容						
R5年度事業費	千円	主な支出内容						
R6年度事業費	千円	主な支出内容						
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
雇用対策として各企業及び世帯に対し、町内へ引っ越し就業する一助となる事業である。本制度活用のため、積極的に活用に向けたPRをすることが必要である。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果		今後の取り組み方針						
③地方創生に効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施						
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								

新型コロナウイルス感染症により、新規雇用を控える企業もあるが、都会から地方へ移住する者のニーズが高まっていることから、この制度を積極的にPRし、雇用対策等につなげていきたい。

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	1-6
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標1 (エ)新規就農者の確保		事業担当課・係	産業振興課農政係				
総合戦略記載内容	①担い手の高齢化が進展する中、次世代の農業を担う人材確保のため、新規就農里親制度の活用、希望者とのマッチング等新規就農者への支援を行い、新規就農者を確保します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	認定新規就農者数	2名	(5年累計)	累計0名	累計2名			
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	新規就農里親制度の活用							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	担い手に向けて里親制度を周知し、里親となってもらえるよう事業を推進していく。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	担い手が出席する会議等で関係する資料を配布するなど行っている。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R4年度事業費		千円	主な支出内容					
R5年度事業費		千円	主な支出内容					
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	信州うえだファームの活用							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	上田市・青木村と共にNPAプロジェクト(定住自立権構想)を立ち上げ、信州うえだファームに専属コーディネーターを配置。新規就農希望者を募ると共に上小地域で就農できるよう支援を行っていく。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	信州うえだファームの修了生と農業大学校生徒との懇談などの活動を行い、希望する作目に応じて、当町の農地斡旋等を行った。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R4年度事業費		千円	主な支出内容					
R5年度事業費		千円	主な支出内容					
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
取り組み事業③ (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	相談会等による希望者とのマッチング							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	新規就農相談会を行い、当町での新規就農者増を目指す。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、関東圏とのリモートでの就農相談会を行った。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容					

R3年度事業費	0	千円	主な支出 内容	
R4年度事業費		千円	主な支出 内容	
R5年度事業費		千円	主な支出 内容	
R6年度事業費		千円	主な支出 内容	
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)				
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】				
新型コロナウイルス感染拡大により、対面や現地での就農相談会が行えない中、信州うえだファームを修了して令和3年度に新規就農を予定する者が2名いる。継続して新規就農者を呼び込めるよう、施策展開を図っていきたい。				
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)				
地方創生への効果			今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった			②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載				
<ul style="list-style-type: none"> ・「新規就農里親制度の活用」事業については、今後も引き続き担い手に制度の周知を図り、新規就農希望者の受入れ体制整備に努める。 ・「信州うえだファームの活用」事業については、引き続き信州うえだファームと連携して、新規就農希望者の希望する作目に合うほ場の選定等を行い、当町での新規就農者の増に務める。 ・「相談会等による希望者とのマッチング」事業については、リモートでの相談会等を活用しながら、当町の情報を発信していくよう努める。 				

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針				
地方創生への効果			今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった			②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
委員からの意見				

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	1-7
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標1 (オ)商工業の発展促進	事業担当課・係	産業振興課商工観光係					
総合戦略記載内容	①町内の商工業者の更なる発展のため、商工会の支援のほか、「商工業発展促進事業」の制度の継続と見直しを図り、利用者がより制度を使いやすい体制を整備します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	「商工業発展促進事業」制度利用件数	25件	(5年累計)	累計0件	累計0件			
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	商工業発展促進事業(販路拡大補助等)							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	町内商工業者の販路拡大、新商品・新製品開発、新技術開発に関する一部費用を支援し、生き残りをかけた商工業の今後の発展に寄与する。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、出展等の催事が中止となることが多く、各企業が出展等できていない。産業展等がオンラインでの実施となる。事業者ニーズを把握するため、商工会から情報提供をお願いしているところである。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R3年度事業費	202	千円	主な支出内容	商工業発展促進事業補助(販路拡大事業200千円、新製品・技術開発支援及び専門家派遣は項目計上のみ)				
R4年度事業費		千円	主な支出内容					
R5年度事業費		千円	主な支出内容					
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
町内の商工業に対し必要な支援ではあるが、新型コロナウイルス感染症が影響し出展等できていないため、支援ができなかった。今後の支援方法について、商工会を通じ各企業のニーズを把握することが必要である。本制度が出展等に関する支援(補助)のため、出展以外のニーズの把握を行い、支援方法等について検討する必要がある。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果		⑤未実施			今後の取り組み方針			
					②事業を現行(計画)どおり継続して実施			
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
新型コロナウイルス感染症の終息を見据えた支援について、商工会を通じ各企業のニーズを把握し、今後も継続して実施していきたい。継続内容については、ニーズ把握により、現在の補助内容等の変更について検討したい。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
⑤未実施	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	1-8
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標1 (カ)企業情報発信の強化	事業担当課・係	産業振興課商工観光係
総合戦略記載内容	①町内各企業の雇用についてのニーズを把握するとともに、人材を求める企業と就職を希望する方(新卒者、若者、子育て世代、町内在住者、移住希望者など)が結びつけられるよう、町内企業の情報発信等を、商工会、経営者懇話会、東信州次世代産業振興協議会、上田職業安定協会とも連携しながら進めます。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
企業情報サイトの活用による企業の人材確保数	3名	(5年累計)	累計0名	確認中			

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	企業情報発信事業		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	就労支援体制の一環として、雇用についての情報発信を商工会ホームページにて実施している。町内各企業の雇用についてのニーズを把握するとともに、人材を求める企業と就職を希望する方が結びつけられるよう各種団体と連携を進める。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	商工会の事業に対する支援を実施している。令和2年度、利用者及び会員事業者より、企業ガイドを商工会ホームページ内に集約した方がよいとの意見が多いなか、より見やすいページを心がけながら商工会ホームページ全般のリニューアルを実施した。ホームページ内に企業情報を集約し、業種別・地区別で閲覧できる機能とする等、利用者及び会員事業者にとってニーズに即した内容となった。令和3年度も引き続き継続した取り組みを行っている。		
R2年度事業費	300 千円	主な支出内容	企業情報発信事業補助(商工会 300千円)
R3年度事業費	300 千円	主な支出内容	企業情報発信事業補助(商工会 300千円)
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)

総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】
ホームページがリニューアルされ、よりニーズに即した内容となっている。本ホームページを活用したPRは大変有効であると考えられるが、このサイトがきっかけで就職に結びついたかどうか、確認して今後の対策につなげる必要がある。まず、各企業に対し本ホームページの活用をしたのか、また、新規に採用された方へどのような方法で採用に結びつけたのか等確認を進めることで、事業の効果等の把握に努めたい。

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)

地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
今後もニーズに即した情報発信を進めるとともに、各種団体と連携し人材を求める企業と就職を希望する者の結びつけを進めていきたい。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針

地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施

委員からの意見

・商工会のホームページで企業の一覧表が掲載、各企業のホームページへリンクで飛ぶようになっているが、可能であれば、各企業の強み・特徴がわかるような内容にしていきたい、さらに興味を引くものにしていただきたい。各企業の社長の写真を載せるなど工夫をしているところもあるので、参考にしていただければ。
 ・商工会としても、ホームページの強み、効果というものは絶大だと感じているので、いただいたアイデアを活かし、進化させていきたい。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	1-9
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標1 (キ)起業支援体制の充実・事業者の育成	事業担当課・係	産業振興課商工観光係					
総合戦略記載内容	①創業支援事業計画に基づき、商工会と連携しながら、伴走型の支援により、きめ細かい創業支援を行い、起業しようとする人への支援を積極的に行います。また、事業承継に関し、支援策の検討を行います。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	長和町創業支援事業補助金を活用した企業数	5企業	(5年累計)	累計3企業	累計3企業			
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	起業・創業支援事業							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	創業支援計画に基づいて起業・創業を目指す人材を支援するとともに、創業初期に係る経費の一部を助成する。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・令和2年度、新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、飲食業及び宿泊業の3事業者が新たに起業することとなり、創業支援計画に基づき商工会と連携し伴走型支援を行い、起業・創業支援事業補助金を交付した。 ・令和3年度、本助成金について2件相談はあったが、現状、起業・創業には結びついていない。							
R2年度事業費	1,500 千円	主な支出内容	起業・創業支援事業補助1件50万円×3企業					
R3年度事業費	500 千円	主な支出内容	起業・創業支援事業補助1件50万円					
R4年度事業費	千円	主な支出内容						
R5年度事業費	千円	主な支出内容						
R6年度事業費	千円	主な支出内容						
取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	事業承継支援施策の検討							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	企業代表者の高齢化により事業承継は各企業において近々の課題であることから、事業承継ができるような支援策について検討する必要がある。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	商工会と連携し、支援策の検討を進めている。							
R2年度事業費	0 千円	主な支出内容						
R3年度事業費	0 千円	主な支出内容						
R4年度事業費	千円	主な支出内容						
R5年度事業費	千円	主な支出内容						
R6年度事業費	千円	主な支出内容						
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、令和2年度起業した3件(飲食業・宿泊業)に対し、今後も伴走支援をしていく。また、新規にて起業したい者からの相談等を積極的に受け入れたい。 ・事業承継は近々の課題であることから、支援策の検討を今後も進めていく必要がある。 								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果		今後の取り組み方針						
③地方創生に効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施						
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								

今後とも引き続き商工会を中心に伴走支援等を実施していきたい。

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	1-10
------	-------	------	------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標1(ク)森林環境譲与税を活用した森林整備の促進による林業者への支援	事業担当課・係	産業振興課林務係
総合戦略記載内容	①森林環境譲与税を活用し、森林整備を進め、町内の林業事業者の支援、育成を行います。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
森林環境譲与税を活用した森林整備体制の検討、整備の実施	整備の実施	(R6時点)	意向調査実施	意向調査復旧工事			
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 令和2年度:意向調査の実施、令和3年度から令和5年度:意向調査の実施及び災害復旧工事の実施、令和6年度:意向調査の実施及び森林整備の実施。							

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業①(事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	森林環境譲与税を活用した森林整備体制の検討、整備の実施		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	森林環境譲与税の使途が、森林整備及びその促進に関することであるため、森林整備に関連する林道の復旧を進め、公道沿いの森林部分整備(倒木による被害が想定される範囲)などを検討する。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	令和元年台風19号の豪雨により被災した林道施設の復旧工事を引き続き実施し、さらに令和3年度8月豪雨災害により被災した林道施設の復旧工事に着手、公道沿いの森林部分整備は林道施設の復旧工事後に実施検討。		
R2年度事業費	7,991 千円	主な支出内容	災害復旧工事(赤沢、不動沢、仙ノ倉、大沢、七曲、東沢、望地、唐沢の国庫補助及び起債対象外被災被害箇所)
R3年度事業費	3,000 千円	主な支出内容	災害復旧工事(本沢の国庫補助事業対象外被災箇所)
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

取り組み事業②(事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	広域連携上小モデル事業		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	森林経営計画の立てられていない山林の現況調査と所有者の調査を行い、説明会と意向調査により経営計画を立て森林整備を推進する。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	森林管理制度広域連携上小モデル実証事業として和田上ノ山23.48haを対象に実施、実施候補地の大門戸ノ脇での現地調査を行ったが適切な管理が確認されたため、和田上ノ山の南側(未実施地)へ候補地を変更し、森林組合と現況調査、所有者調査、意向調査を検討中。		
R2年度事業費	2,180 千円	主な支出内容	森林管理制度広域連携上小モデル実証事業負担金
R3年度事業費	1,270 千円	主な支出内容	森林管理制度広域連携上小モデル実証事業負担金
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)

総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】

- ・森林整備に関連する事業として林道施設災害復旧工事が進んでいるが、R5年度までかかる見通しである。
- ・広域連携上小モデル事業の意向調査により、管理を任せたいと考えている山林所有者が判明した。管理を任せたいと考えている山林所有者へは今後林業事業者へ紹介し、森林経営計画を立ててもらおう予定である。

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)

地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
<ul style="list-style-type: none"> ・林道施設災害復旧後には、森林環境譲与税を活用した公道沿いの森林部分整備などを検討し実施することで、林業事業者へ安定した仕事の供給を図る。 ・広域連携上小モデルによる、森林経営計画が設定されておらず荒れている山林の調査、説明会、意向調査を推進する。 	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	2-1
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標2（ア）地域資源を活かした観光振興による交流人口の増大	事業担当課・係	産業振興課商工観光係					
総合戦略記載内容	①長和町にある様々な観光資源となりうる地域資源（自然環境、中山道長久保宿・和田宿や日本遺産に認定された星葉峠黒耀石原産地遺跡等の歴史遺産、おたや祭等の地域に伝わる伝統文化、スキー場、町内各施設等）を活かした観光振興のため、観光地域づくり法人（日本版DMO）についても研究しながら、町全体での観光プロモーションに取り組みます。							
重要業績評価指標（KPI）の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	町全体での観光プロモーション活動の検討、施策の実施	施策の実施	（R6時点）	検討中	検討中			
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 令和2年度：協議会の設立2団体、令和3年度：協議会に関する活動支援2団体、令和4年度：DMO・DMCへの移行2団体、令和5年度：観光プロモーションに伴う旅行商品の作成1商品、令和6年度：観光プロモーションに伴う旅行商品の作成1商品								
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	町全体での観光プロモーション活動の検討、観光地域づくり法人（DMO）の設立についての検討							
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）	観光協会が主体となり、地域資源を活かした町全体の観光プロモーションに取り組む。その先に観光地域づくり法人（日本版DMO）の設立がみえてくるような取り組みをする。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度、新型コロナウイルス感染症感染拡大により誘客活動が見通せないなか、「長和町の魅力向上と情報発信」を重点を置き観光プロモーションに取り組んできた。また、スポーツによる地域活性化推進として、「長和町スポーツコミッション」を立ち上げた。また、ビーナスライン周辺のスキー場及び関係行政にて「Eight Peaks Resort」協議会を立ち上げ、茅野市・立科町・長和町のスキー場の通年利用に向けた取り組みを始めた。 令和3年度、この2つの協議会の支援を実施している。長和町スポーツコミッションについては、国庫補助事業に採択され、運営費を支援する。 							
R2年度事業費	1,116 千円	主な支出内容	スポーツコミッション立ち上げに関する補助金（全額国庫補助）					
R3年度事業費	11,000 千円	主な支出内容	スポーツコミッション運営に関する補助金（全額国庫補助）					
R4年度事業費	千円	主な支出内容						
R5年度事業費	千円	主な支出内容						
R6年度事業費	千円	主な支出内容						
上記の取り組みに対する総合的な所見（事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策）								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策：KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
観光地域づくり法人の設立については観光協会にて研究検討を重ねているが、ニーズが多岐にわたる。町内での設立した「長和町スポーツコミッション」のほか、ビーナスラインエリア（広域）で設立した「Eight Peaks Resort」協議会を支援し、DMO・DMCへの移行等、町全体での観光プロモーション活動へつなげていく。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針（自己評価）								
地方創生への効果				今後の取り組み方針				
③地方創生に効果があった				②事業を現行（計画）どおり継続して実施				
今後の取り組み内容：今後の取り組み内容（事業計画）を改善の方向性も踏まえて記載								
新型コロナウイルス感染症感染拡大により誘客に大変苦慮しているが、今後とも観光プロモーション活動及び施策の検討を実施していく。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行（計画）どおり継続して実施

委員からの意見	
---------	--

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	2-2
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標2 (ア)地域資源を活かした観光振興による交流人口の増大	事業担当課・係	産業振興課商工観光係・特産品開発係、企画財政課まちづくり政策係					
総合戦略記載内容	②ビーナスラインやご当地そば等、共通の観光資源を持つ他自治体との連携により、広域的な人の流れを生み出します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	他自治体と連携して取り組む新規事業数	3件	(5年累計)	累計2件	累計2件			
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	ビーナスライン広域連携事業							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	県、ビーナスライン沿線市町村及び観光協会等が参画し、ビーナスラインをキーワードに各観光地を結び広域的なビジョンのもと、戦略的なつながりによる誘客、環境整備、自然保護等他エリアとの差別化を図り、地域間のブランド化と交流人口の増加を結びつける。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、ホームページによる情報発信、レンタカー利用者に周遊促進事業モニタリング調査、観光目線での施設改善要望(県建設部)、新規事業として、自転車に着目し誘客を図るため、サイクルスタンドを各所へ設置した。(町内8箇所)(この新規事業1件をKPIにおける実績とした。) ・令和3年度は、令和2年度と同様にホームページによる情報発信、観光目線での施設改善要望を実施した。新規事業で、警備会社アルソックと信州大学人文学部との協働事業にて計画をしていた人流に関するモニタリング調査及び情報発信について、新型コロナウイルス感染症の影響により、次年度以降へ延期した。 							
R2年度事業費	420	千円	主な支出内容	事業負担金として協議会へ支出(協議会全体事業費 6,700千円)				
R3年度事業費	420	千円	主な支出内容	事業負担金として協議会へ支出(協議会全体事業費 6,700千円)				
R4年度事業費		千円	主な支出内容					
R5年度事業費		千円	主な支出内容					
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	青木村と連携したご当地蕎麦イベント事業							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	・2町村だけが残った長野県小県郡に注目し、青木村と長和町が共同で両町村の蕎麦(「タチアカネそば」、「ダツトンそば」)を活かした蕎麦イベントを実施する。蕎麦のPRのほか、観光PRや移住相談もあわせて行う。これまで、埼玉県や軽井沢プリンスショッピングプラザにおいて実施。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、イベント開催の可否やどこで実施するのか、イベントを開催できない場合にはどうするのか等、青木村と調整し実施していく。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの開催は見送り、両町村のご当地蕎麦を切り口に、長野県内に向けてのPRを実施した。ラジオでのPR: SBCラジオおいしい秋の大感謝祭! での両町村道の駅からのタレントレポート。テレビでのPR: テレビ信州でのCM放映、グルメ番組(美味しさへの旅)制作。これにより、KPIにおける新規事業1件とした。 ・令和3年度は、令和2年度と同様にラジオでのPR: SBCラジオおいしい秋の大感謝祭! での両町村道の駅からのタレントレポートを行った。 							
R2年度事業費	700	千円	主な支出内容	信州小県ご当地蕎麦イベント負担金(青木村へ)700千円				
R3年度事業費	1,300	千円	主な支出内容	信州小県ご当地蕎麦イベント負担金(青木村へ)1,300千円				
R4年度事業費		千円	主な支出内容					
R5年度事業費		千円	主な支出内容					
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								

総合的な所見【事業の効果、課題、改善策：KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】

①ビーナスライン広域連携事業は、新型コロナウイルス感染症の影響がある中での連携した取り組みを検討し、単独で実施するより、広域にて実施することによりスケールメリットを活かした事業となっている。

②青木村と連携したご当地蕎麦イベント事業は、新型コロナウイルス感染症の影響がある中での連携した取り組みを検討し、首都圏の方へのPRではなく、長野県内の方を主なターゲットとしてテレビ・ラジオによるPRを行うこととした。マスメディアの活用により、長野県内の方を中心に、小県地域への誘客を行った。長和町では、ダッタンそばやマルシェ黒耀のPRにもつながった。

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)

地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
①ビーナスライン広域連携事業は、単独で誘客するよりビーナスラインをキーワードにスケールメリットを活かした事業であることから、今後も新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、効果的な事業展開を図ることが必要である。	
②青木村と連携したご当地蕎麦イベント事業は、両町村の特徴的な蕎麦を活かしたイベント等の取り組みにより、両町村の知名度向上及び小県地域への誘客につながるものである。新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、イベントのあり方等(コロナ禍でもできること)について引き続き青木村と協議を行い、効果的な事業展開を図る。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	2-3
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標2（ア）地域資源を活かした観光振興による交流人口の増大	事業担当課・係	産業振興課商工観光係、情報広報課情報広報係					
総合戦略記載内容	③訪日外国人旅行者の受入れ体制・環境整備について、観光協会と連携し研究を進め、訪日外国人客に対応可能な人材の育成とプロモーションの強化に取り組みます。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	長和町コンシェルジュ認定人数	20人	(5年累計)	累計2人	累計4人			
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	長和町コンシェルジュ(ガイド)育成事業							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	訪日外国人旅行者の受け入れ体制に資する事業として、人材育成を行う。月2回の講習にて、単なる英会話ではなく、町の魅力を英語で旅行者へ案内でき、いずれは観光ガイドが事業としてできるような人材を育成する。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・令和2年度、中山道、日本遺産の講習を中心に月2回ずつ実施し、コンシェルジュとして2名認定した。 ・令和3年度、中山道、日本遺産の講習を中心に月2回ずつ実施している。							
R2年度事業費	359	千円	主な支出内容	コンシェルジュ育成事業経費（講師謝礼300千円、講師旅費15千円、需用費44千円）				
R3年度事業費	422	千円	主な支出内容	コンシェルジュ育成事業経費（講師謝礼360千円、講師旅費18千円、需用費44千円）				
R4年度事業費		千円	主な支出内容					
R5年度事業費		千円	主な支出内容					
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策：KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
現在、9名の者がコンシェルジュ認定者となっている。単なる英会話ではない、町の魅力を旅行者に案内できる人材育成ができています。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果		③地方創生に効果があった			今後の取り組み方針			
					②事業を現行(計画)どおり継続して実施			
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
新型コロナウイルス感染症により訪日外国人旅行者を現状呼び込むことは難しいが、コロナ後を見据えた事業として、今後も人材育成を行っていく。また、単なる英会話ではなく町の魅力を発信するための講習をしており、日本人向けにも案内をすることができると考えられることから、ニーズに沿った事業展開を図っていきたい。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	・外国人向けに、日本の素晴らしい場所のウォーキングツアーを企画し売り出している会社がある。この強みがまさにコンシェルジュ(案内できる人)ということで、参加費をひとりあたり4万5千円～7万円で10日間ほど、40～50万円の収入になるという商売をしている。外国語で広域的にエリアを説明できる人材に育てば、このような方向も目指すことができると思うので、参考にしてください。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	2-4-1
------	-------	------	-------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標2 (イ) 空き家の活用による交流人口の増大	事業担当課・係	企画財政課まちづくり政策係
総合戦略記載内容	①町内にある空き家を活用した新たな価値の創出(企業のオフィスやカフェなど)に取り組みます。また、町内の既存空き家を活用して整備した「長和町田舎暮らし体験住宅」の利活用を図り、町への移住者を呼び込むきっかけとします。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
田舎暮らし体験施設利用件数	15件	(年間)	3件	0件			
移住・定住件数	3件	(年間)	0件	0件			

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	長和町田舎暮らし体験住宅整備事業【地方創生拠点整備交付金事業】(平成29年度)		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に地方創生拠点整備交付金事業として、和田青原地区の空き家を活用した移住希望者が利用できる田舎暮らし体験住宅を整備した。第2期総合戦略期間中は、整備した施設の有効活用を図る。 整備した田舎暮らし体験住宅を活用し、移住・定住者の増加につなげるよう、移住セミナーでのPRや移住体験セミナーでの利用を進める。また、スポット的なイベントでの利用や、地域住民の活動時に利用していただくなど、利用者がいない期間の有効活用も進める。 		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	整備した施設の具体的な利活用状況は、取り組み事業②「長和町田舎暮らし体験住宅運営事業」記載のとおり。		
(参考)H29年度事業費	19,580 千円	主な支出内容	設計監理委託(810千円)、施設改修工事(16,934千円)、パンフレット作成(540千円)、施設用備品等(1,296千円)

取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	長和町田舎暮らし体験住宅運営事業		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	移住希望者が田舎暮らし体験住宅を利用して実際に長和町に滞在する事で、長和町の自然や環境などの魅力を直接感じてもらい、移住した時のイメージ作りをしてもらう。また、地域おこし協力隊なども連携し、利用者にいろいろな情報提供や町内案内、空き家バンク物件の見学等も勧めながら、実際の移住に結びつける。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	長和町田舎暮らし体験住宅の運営を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により前年度から引き続き受入停止しているため、受入は0件となっている。受入にあたっては利用者に利用開始前2週間分と利用期間中の健康チェックや行動履歴の提出・記入を依頼し、利用後は必要箇所の消毒作業も実施する。また、緊急事態宣言等が出されたタイミングでは、事前に予約があった方にキャンセルしていただいた。		
R2年度事業費	320 千円	主な支出内容	消毒スプレー等消耗品45,181円、光熱水費等維持管理費274,665円
R3年度事業費	473 千円	主な支出内容	体験住宅用消耗品費50,000円、光熱水費等維持管理費423,000円
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)

総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】
<ul style="list-style-type: none"> 長和町田舎暮らし体験住宅整備事業は第1期総合戦略期間において実施済みであり、第2期総合戦略期間における有効活用が望まれる。 長和町田舎暮らし体験住宅運営事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度から引き続き受入停止しているため、受入は0件となっている。今後も新型コロナウイルス感染症の影響は続くものと思われ、状況次第ではKPIの達成にも影響が出る可能性もある。

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)

地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施

今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載

- ・長和町田舎暮らし体験住宅整備事業は、運営事業により施設の利活用を図る。
- ・長和町田舎暮らし体験住宅運営事業は、新型コロナウイルス感染症の影響はまだまだ続くものと思われるが、状況を見て判断しながらいつでも再開できるよう準備を進めるとともに、各イベントにおいて引き続きPRを行っていく。

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	2-4-2
------	-------	------	-------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標2 (イ)空き家の活用による交流人口の増大	事業担当課・係	企画財政課まちづくり政策係					
総合戦略記載内容	①町内にある空き家を活用した新たな価値の創出(企業のオフィスやカフェなど)に取り組みます。また、町内の既存空き家を活用して整備した「長和町田舎暮らし体験住宅」の利活用を図り、町への移住者を呼び込むきっかけとします。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	空き家の整備による新たな価値の創出のための整備件数	1件	(5年累計)	累計0件	累計0件			
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	空き家活用団体と連携した空き家整備事業							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	空き家活用団体等への補助を通じ、空き家を活用した新たな価値の創出(企業のオフィスやカフェなど)に取り組むため、空き家バンクと連携し、空き家の情報提供・発信を行い、活用団体等の発掘を進める。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	空き家活用団体等へ向け、空き家バンクと連携し、空き家の情報提供・発信を行った。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R3年度事業費	1	千円	主な支出内容	空き家活用団体への補助。				
R4年度事業費		千円	主な支出内容					
R5年度事業費		千円	主な支出内容					
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
・中間評価時点では制度活用団体等はなく、空き家を活用する意向のある団体数や実際に意向を持っている団体の有無が把握できていないが、引き続き空き家バンクと連携し、空き家の情報提供・発信を進めて行く事が重要である。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果			今後の取り組み方針					
③地方創生に効果があった			②事業を現行(計画)どおり継続して実施					
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
・空き家バンクと連携し、空き家バンクへの物件登録件数を増加させつつ、個人や団体等への情報提供や発信に努め、活用団体の発掘につなげる。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	2-5
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標2 (イ) 空き家の活用による交流人口の増大	事業担当課・係	企画財政課まちづくり政策係
総合戦略記載内容	②長和町空き家情報登録制度(「空き家バンク」)を更に充実させるために、貸手と借り手のニーズを把握した上で、積極的にマッチングを行い、成約件数の増加を図ります。また、移住相談を通じて移住しようとしている人のニーズを的確に把握し、長和町の地域資源とのマッチングを図り、移住者の増加を目指します。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
長和町空き家情報登録制度(「空き家バンク」)新規登録件数	15件	(5年累計)	累計4件	累計8件			
長和町空き家情報登録制度(「空き家バンク」)に登録された物件の売買等成立件数	10件	(5年累計)	累計6件	累計7件			
移住相談件数	100件	(5年累計)	累計68件	累計88件			

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	空き家バンク制度運営		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	空き家バンク制度の運営により、成約件数を増やす事で、移住・定住者の増加を図ると共に、空き家の解消に結び付けていく。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	空き家バンクホームページを運用し、空き家の情報発信を行い、宅地建物取引業者と協力し物件見学等に対応した。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により見学を受入停止しているため、成立件数は伸び悩んでいる。		
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容
R4年度事業費		千円	主な支出内容
R5年度事業費		千円	主な支出内容
R6年度事業費		千円	主な支出内容

取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	首都圏等での移住相談		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	首都圏等での移住相談を実施する事により、移住希望者に対し町の魅力をPRし、長和町への訪問(田舎暮らし体験住宅の利用や空き家バンクの物件見学など)や長和町の知名度向上を図り、実際の移住・定住者の増加へと結び付けていく。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	新型コロナウイルス感染症の影響により現地で開催するイベントがほぼ中止・延期となってしまったため、実施できなかった。代わりに県主催のオンラインセミナーやイベントへの参加や、上田地域4市町村合同でのオンラインセミナーを開催した。		
R2年度事業費	100	千円	主な支出内容 イベント参加等への負担金100,000円
R3年度事業費	267	千円	主な支出内容 イベント参加時の職員旅費等110,000円、イベント参加等への負担金157,000円
R4年度事業費		千円	主な支出内容
R5年度事業費		千円	主な支出内容
R6年度事業費		千円	主な支出内容

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)	
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】	
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンク運営制度は実施中で、登録件数、成約件数共にKPIは達成できていないが、実績は出ている。 ・首都圏等での移住相談は新型コロナウイルス感染症の影響により現地で開催するイベントがほぼ中止・延期となってしまったため、実施できなかった。 	
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンク運営制度は更なる登録件数及び成約件数の増加を図るため、引き続き情報発信、物件の掘り起こしを行っていく。 ・首都圏等での移住相談は新型コロナウイルス感染症の影響により今後実施できる状況になるか不透明な部分ではあるが、機会があれば積極的に参加し、状況に応じオンラインイベントにも対応していく。また、上田地域4市町村合同でのオンラインセミナーの実施に加え、移住体験ツアーの実施に向け検討を進める。 	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	2-6
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標2（ウ）若い世代の定住人口増大のための支援	事業担当課・係	建設水道課建設耕地係
総合戦略記載内容	①立岩落合住宅団地の販売を積極的に進めるとともに、若い世代のニーズを把握した上で、新たな宅地の造成についても検討します。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
立岩落合住宅団地区画販売数	完売	(R6時点)	1区画販売 (残1区画)	1区画販売 (残2区画)			

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）

事業名	立岩落合住宅団地に関する販売のための広告宣伝		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	町のホームページや広報誌にその都度情報を掲載し、完売に向けた宣伝を行う。 造成した17区画のうち16区画が販売済みで、残り1区画については、隣接する土地を購入し、宅地の形状および面積が現状よりも大きくなるように企画販売する。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	町ホームページにて販売に向けた宣伝を行った。		
R2年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R3年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）

事業名	新たな宅地造成の検討		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	現在売れ残っている土地(立岩落合団地1区画、和田細尾団地3区画)の販売を優先し、販売方法について検討していきたいと考えている。立岩落合団地については、隣接する土地を購入し、残区画の改良と併せて宅地造成を計画している。 細尾団地については、住宅メーカーに売却し、建売住宅のような形式で販売する等、今までに取り組んでいない販売方法も検討していく。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	令和3年度に立岩落合住宅団地の測量設計と宅地造成工事を行った。令和4年度には、新たに造成した1区画を含めた2区画を販売する予定である。		
R2年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R3年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)

総合的な所見【事業の効果、課題、改善策：KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】

- ・区画購入者のほとんどは町内の若者向けアパートに住んでいた世帯で、人口流出の減少につながった。
- ・残区画については、土地の形状、立地条件等の要因により、購入を希望する方がいないことから、土地の改良及び販売方法の再検討を前提に事業を進めていきたい。

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、町ホームページ及び広報等の情報媒体を活用し、完売に向けた宣伝・PRを行う。 ・立岩落合団地については、隣接する土地を購入し、残区画の改良と併せて宅地造成を計画している。また、細尾団地については、住宅メーカーに売却し、建売住宅のような形式で販売する等、今までに取り組んでいない販売方法も検討していく。 	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	2-7
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標2 (エ)国際交流の推進による交流の活性化と人材育成	事業担当課・係	総務課総務係(国際交流)、教育課文化財係					
総合戦略記載内容	①英国セットフォード町と長和町との地域間交流を継続して実施することで人の交流を活性化します。あわせて、町内の中学生と高校生で構成される長和青少年黒耀石大使を継続して育成し、地域に誇りを持ち国際感覚を備えた、地域の未来を支える人材の育成に取り組みます。また、海外に向けて長和町の情報を発信します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	国際交流活動への参加人数	500人	(5年累計)	累計20人	累計36人			
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	長和町青少年海外派遣交流事業							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・英国セットフォード、ブレックランド地域と長和町との地域間交流を継続して実施することで、人的交流を活性化にする。併せて、町内の中学生高校生で構成される「長和青少年黒耀石大使」を継続して育成し、地域に誇りを持ち、国際感覚を備えた、地域の未来を支える人材の育成に取り組み。また、海外に向けて長和町の情報を発信する。 ・新型コロナウイルスの収束を見定めながらであるが、令和4年度には3期生と4期生、令和6年度には5期生の、「長和青少年黒耀石大使」の英国渡航を継続する。 ・ポストコロナの人流の回復にあわせて、海外の博物館関係者、考古学研究者およびセットフォードとの交流関係者を招待し、「星くそ館」を中心とした国際ワークショップイベントを開催する。 							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町の特色ある歴史遺産である「黒耀石」を仲立ちとした、英国セットフォードおよびブレックランド地域との国際交流事業は、交流推進のベースとなる英国諸機関との研究・教育交流協定締結によって、また、両地域の一般市民によって構成される実行委員会の設立により、中学生・高校生同士の活発な交流や、一般市民の交流事業への参加をもたらした。 ・令和2年度は、本来であれば「長和青少年黒耀石大使」3期生の英国渡航とオランダでの「シーボルトの黒耀石」追跡調査が行われる予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため、英国渡航は1年延期し、国内での研修についても、長野県内での感染の様子を見ながらの限定的な活動となった。英国においても、外出制限(ロックダウン)に伴い、エンシェントハウスミュージアムやセインズベリー日本藝術文化研究所はほぼ1年間閉館が続いたが、facebookやtwitterなどのSNSを通じてこれまでの取り組みを紹介し合ったり、エンシェントハウスミュージアムのプロジェクトに黒耀石大使3期生およびOBOG大使が作品を寄せるなどの活動を行った。 ・令和3年度に延期して実施を予定していた「長和青少年黒耀石大使」3期生のオランダ・英国渡航は、新型コロナウイルス感染拡大継続のため、令和4年度に再延期とした。令和3年7月に「長和青少年黒耀石大使」4期生を募集し、8月に9名の参加者が決定した。これにより、3期生と併せて16名での活動となるが、上田地域の感染拡大の継続により、全体での研修は見合わせており、10月以降、Zoomを利用した英国とのリモート研修会を計画し、準備を進めている。 ・令和3年7月21日から、星麓峠縄文黒耀石鉱山の野外展示施設「星くそ館」が一般に向けてオープンした。新型コロナウイルス感染継続のため、開館式典に海外の博物館関係者、学術関係者を招待し、さらなる交流を深めるという計画は実現できなかったが、学術交流協定を結んでいるセインズベリー日本藝術研究所が毎月開催している「第3木曜講演会「Third Thursday Lecture」」において、羽田町長と大竹学芸員が「星くそ館」から、講演者であるサイモン・ケイナー所長とzoomでのインタビューに応じ、これまでの黒耀石と縄文文化を介した英国との国際交流の取り組みと成果とともに、「星くそ館」の紹介を世界に向けて発信した。 ・「星くそ館」完成に伴い、数十年にわたる星麓峠縄文黒耀石鉱山の発掘調査が一つの区切りを迎えたが、これまでに作成した調査報告書を総合した英文の報告書を作成し、海外の関係者との学術的な交流を推進する。この「発掘調査報告書英語版」の作成については、「長和青少年黒耀石大使」とともに渡航を予定していた黒耀石研究者による「シーボルト・コレクションの黒耀石追跡調査」に採択されていた「東芝国際交流財団」の助成金を活用して令和3年度中に作成することを計画している。この報告書の完成により、令和4年度以降、コロナ感染の収束後に再開する予定の国際的な学術交流において、海外の研究者及び研究機関とのさらに発展的な交流が展開することが期待できる。また、本報告書の完成を実績として、研究者の渡航に関しては改めて助成申請を行う予定である。 							
R2年度事業費	178 千円	主な支出内容	需用費 125、役務費 53					
R3年度事業費	7,088 千円	主な支出内容	実行委員会委員報酬350、実行委員旅費18、実行委員会英国駐在委員報償費120、実行委員会負担金6,600(講師等報償費、旅費・宿泊費、バス等使用料、研修会食費消耗品、保険・通信等役務費、ワークショップ原材料費)					

R4年度事業費	千円	主な支出 内容	
R5年度事業費	千円	主な支出 内容	
R6年度事業費	千円	主な支出 内容	
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)			
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】			
<p>・第1期総合戦略期間中も含め、これまでの取り組みについては、学術的な成果と同時に、日英両国の一般市民の参加という成果が得られている。また、「長和青少年黒耀石大使」の活躍は、町の内外で大きな反響を呼んでおり、同時に、本事業に参加した子どもたちへの大きな教育効果があった。今後の課題は、コロナ禍においてもこれまでに構築した両地域の絆をいかに維持していくかということと、現役大使と先輩大使との連携が継続できる体制を構築していくことがある。</p>			
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)			
地方創生への効果		今後の取り組み方針	
②地方創生に相当程度効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載			
<p>・国際交流事業の特性上、コロナの影響は年単位で継続し、特に英国との往来は制限され、当面は先の見通しがつかない状況が続くと思われる。「長和青少年黒耀石大使」については、英国渡航を含めた活動ができる前提で計画通りに募集し、継続的に活動していく。これまでの取り組みの中で構築した両地域の絆の強まりを維持していくために、積極的にSNS等を活用してオンラインでの交流を継続していく。また、海外との往来ができないこの状況を逆に好機ととらえ、課題とされている「黒耀石大使」の先輩後輩をつなげる組織作りや、国際交流基金の拡充の手立てを講じること、また学校教育現場との協力体制作りなど、持続可能な事業基盤の強化に時間を割き、力を入れていく。</p>			

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針			
地方創生への効果		今後の取り組み方針	
②地方創生に相当程度効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
委員からの意見			

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	2-8
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標2（オ）情報発信体制の強化	事業担当課・係	情報広報課情報広報係
総合戦略記載内容	①長和町の知名度の向上や必要な人に必要な情報が届くよう、これまでの情報発信のあり方について見直し、様々なメディアやソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の活用など、時代に即した情報発信の方法を検討し、実施します。また、FMとうみアプリを使った情報発信を充実します。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
情報発信体制の検討、施策の実施	施策の実施	(R6時点)	my daiz運用開始	*my daiz運用 *協力隊員 SNS運用開始			
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 ・DOCOMO提供の携帯アプリ「my daiz」の運用 ・SNSによる情報発信							
FMとうみアプリ登録者数	5,000件	(R6時点)	通常 6,595件 防災 6,719件	通常 7,698件 防災 7,844件			

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）			
事業名	情報発信体制の検討事業		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	(1) NTTドコモ提供アプリ「my daiz」の無料サービスの運用を開始したことにより、黒耀石に関する施設や事業を中心とした観光部門に特化した情報を発信していく。 (2) Facebook・Twitterの運用を継続実施していく。 (3) 上記に加え、令和3年3月に着任した地域おこし協力隊員が運用するSNS等とも連携していく。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	(1)令和3年2月17日付けで運用を開始し、現在運用中 (2)放送依頼に従い、町公式Facebook・Twitterでの情報発信 (3)令和3年3月に着任した地域おこし協力隊員によるYoutube・Facebook・Twitterでの情報発信		
R2年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R3年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	
取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）			
事業名	FMとうみ放送委託事業		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	事業担当係からの依頼に基づき、下記により情報を発信していく。 (1) ラジオ番組放送(毎日 7:50AMから5分間専用番組) (2) アプリによる文字配信(通常のお知らせ、防災情報)		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	同上		
R2年度事業費	1,463 千円	主な支出内容	放送委託料(ラジオ番組放送803、アプリ配信利用 660)
R3年度事業費	1,463 千円	主な支出内容	放送委託料(ラジオ番組放送803、アプリ配信利用 660)
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	

R6年度事業費	千円	主な支出 内容
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)		
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】		
<p>①情報発信体制検討事業中、(1)『my daiz(マイデイズ)』の運用にあたり、分析結果を参考に内容の見直しを随時行っていく。(2)町公式Facebook・Twitterに加え、Instagramの導入検討や、情報発信担当の地域おこし協力隊のSNSによる発信内容をすみ分けした中で、継続して連携していく。</p> <p>②FMとうみ放送委託事業は、広報誌に周知記事を掲載し、時間や場所を選ばずに防災情報を入力できるツールとして認知度を高めることで、登録者数の増加を図れている。</p>		
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)		
地方創生への効果		今後の取り組み方針
②地方創生に相当程度効果があった		①事業の展開の将来性が高いので強化して実施
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載		
<p>①情報発信体制においては、情報発信を任務とする地域おこし協力隊員が運用するSNS等と連携することにより、行政からの事務的かつ一方的な情報に違う視点からの情報が加わることで、厚みを持った情報提供に努めていく。</p> <p>②FMとうみアプリは、防災情報の入手先の一つとして広報誌で周知しているが、登録者は町民以外もいることから、ケーブルテレビの文字放送等だけでなく、広く町の取り組みを知ってもらうためのツールとして情報量を増やしていく。</p>		

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針		
地方創生への効果	今後の取り組み方針	
②地方創生に相当程度効果があった	①事業の展開の将来性が高いので強化して実施	
委員からの意見		

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	2-9
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標2（オ）情報発信体制の強化		事業担当課・係	企画財政課まちづくり政策係				
総合戦略記載内容	②女子美術大学と連携し、大学生のデザイン力や発信力を活用して、アートの力を活かした情報発信や地域の振興に取り組みます。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	女子美術大学と連携した事業の取組件数	10件	(5年累計)	累計3件	累計4件			
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	女子美術大学と連携したアートによる長和町活性化事業							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	アートの力をまちづくりに活かし地方創生につなげることを目的として、女子美術大学と連携し、大学生のデザイン力や発信力を活用した情報発信・地域振興に取り組む。女子美術大学との包括連携協定の締結を視野に入れながら、本事業について寄せられたアイデアを踏まえつつ、町の事業と関連付けて事業を進める。事業の成果は専用ホームページに掲載するとともに、長和町総合文化祭等での展示、広報ながわへの掲載など、町民の皆さまにわかりやすく伝えていく。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	令和2年度は、①長和町の民話をテーマとした作品の制作(大学の授業として取り組み)、②町内巡回バスのラッピング及びロゴデザイン、③認知症サポーター養成講座受講者向けオリジナルグッズデザインを実施し、取り組み件数は3件となった。総合文化祭への作品展示は中止のためできなかったが、専用ホームページに作品を掲載したほか、令和元年度に制作された民話クリアファイルを長門小、和田小、依田窪南部中学校に配布し、民話を若い世代に伝えることの助となった。また、令和元年度事業の作品を広報ながわにおいて紹介した。包括連携協定の締結は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、進めることができなかった。 令和3年度は、大学の授業として町内のバス停に関する企画がされ、リモートプレゼンが行われた。認知症サポーター養成講座に関連して、ながわ(輪)ささえあい隊の周知・広報用ポスターデザインを実施した。							
R2年度事業費	1,539 千円	主な支出内容	アートをテーマとした構想事業委託料(ホームページ運営、委託事業者活動費等)					
R3年度事業費	3,150 千円	主な支出内容	アートによる長和町活性化事業委託料及び報償費(女子美大及び委託事業者活動費、ホームページ運営、報告書作成費、作品デザイン謝礼等)					
R4年度事業費	千円	主な支出内容						
R5年度事業費	千円	主な支出内容						
R6年度事業費	千円	主な支出内容						
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
<p>・授業の一環で長和町に伝わる民話が取り上げられ、若い世代に民話を知っていただく取り組みが行われたほか、長和町からの要望に基づくデザイン(町内巡回バスのラッピング及びロゴデザインや認知症サポーター養成講座受講者向けグッズデザイン、ながわ(輪)ささえあい隊の周知・広報用ポスターデザイン)が実現、小中学生への民話クリアファイルの配布(新聞等でも報道)を通じて、町民の皆さまに女子美術大学との連携した取り組みを知っていただくことができた。このことにより、町民の皆さんに改めて長和町の良さを知っていただくことにつながった。専用ホームページへの作品掲載を通じた長和町のPRにつながった。</p> <p>また、新型コロナウイルスの影響により、以前同様の取り組みが難しいケースも多いが、その中でできる取り組みに力を入れた。ながわ(輪)ささえあい隊任命式では、小学生とグッズデザインを行った学生、女子美術大学の教員をリモートで繋ぐことで、お互いを身近に感じる機会となった。</p> <p>・これまでの長和町総合文化祭における作品展示や広報ながわによる作品紹介により、徐々に本事業や大学との連携について、町民の方の認知度が向上している。これらの取り組みを通じ、長和町の地域資源の魅力を再発見や再認識、知名度の向上等につながる事が期待される。</p>								

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
<p>・令和3年度は、長和町をテーマにした授業が引き続き行われることから、その成果を広くPRするなどして、町の魅力発信に努めたい。また、広報ながわ、町のケーブルテレビゆいねっとでの作品紹介の実施、専用ホームページの充実、総合文化祭への作品展示を行う予定である。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、大学生が長和町に来町できない状況が続いているが、今後も、大学と打ち合わせながら事業内容を検討し、アートの力を活かした情報発信や地域振興につなげる。</p> <p>・包括連携協定については、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、大学との調整を行い、協定の実現に向けて取り組む。</p>	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	3-1
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標3 (ア)結婚支援体制の充実(「婚活」支援)	事業担当課・係	町民福祉課福祉係					
総合戦略記載内容	①社会福祉協議会、婚活イベント実施団体と連携し、出会いの場の提供の工夫、出会った後のアフターケア、成婚までのフォローを行う等、婚活支援事業補助金を活用し、結婚を希望する者の願いがかなうよう支援体制の充実を図ります。あわせて、上田地域定住自立圏を構成する自治体等と連携した取り組みを検討します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	婚活支援事業補助金を活用した交流イベント参加者数	60人	(年間)	0人	0人			
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	長和町婚活支援事業補助金の継続							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	社会福祉協議会、婚活イベント実施団体と連携し、出会いの場の提供の工夫、出会った後のアフターケア、成婚までのフォローを行う等、婚活支援事業補助金を活用し、結婚を希望する者の願いがかなうよう支援体制の充実を図る。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、イベントの実施ができなかった。令和3年度もコロナ禍により婚活イベントの開催は難しい状況であるが、社協とイベント開催に向け協議を進めている。							
R2年度事業費	0 千円	主な支出内容	事業実施なし。					
R3年度事業費	400 千円	主な支出内容	長和町婚活支援事業補助金400千円					
R4年度事業費	千円	主な支出内容						
R5年度事業費	千円	主な支出内容						
R6年度事業費	千円	主な支出内容						
取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	上田地域定住自立圏構成市町村等との連携についての協議							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	・上田地域定住自立圏構成市町村と連携した婚活イベントを令和2年度から実施している。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・令和2年度は、定住自立圏内に居住する男女各20名ずつの参加により、婚活イベントを開催した。 ・令和3年度も11月に婚活イベントを計画し、現在参加者の募集をおこなっている。							
R2年度事業費	13 千円	主な支出内容	上田地域定住自立圏合同婚活イベント負担金					
R3年度事業費	13 千円	主な支出内容	上田地域定住自立圏合同婚活イベント負担金					
R4年度事業費	千円	主な支出内容						
R5年度事業費	千円	主な支出内容						
R6年度事業費	千円	主な支出内容						
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
・婚活支援事業補助については、実施できていない。 ・定住自立圏での連携事業は、昨年、対象を定住自立圏としたことにより、参加応募者数が増加し出会いの場の創出につながった、今年も11月に開催予定である。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果		今後の取り組み方針						
③地方創生に効果があった		③事業内容を見直して実施						

今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載

- ・婚活支援事業補助について、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、イベントの開催ができなかったが、新しい生活様式を取り入れ、webでのリモート等により、開催する方法を検討したい。
- ・定住自立圏での連携事業は周知方法を工夫しながら、参加者の増につなげる。

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	③事業内容を見直して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	3-2
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標3 (イ)子育てするための環境や支援の充実	事業担当課・係	こども・健康推進課子育て支援係・健康づくり係、教育課学校教育係
総合戦略記載内容	①子育て世帯の経済的な負担の軽減(産前産後交通費助成、子育て応援給付金、おむつ用ごみ袋支給、高校通学費補助、給食費無償化、保育園副食費無償化等)を継続します。また、奨学金制度の充実(給付型奨学金、条件付の償還一部免除等)を検討します。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
おむつ用ごみ袋支給人数	24人	(年間)	32人	11人			
支え合いサポート事業利用料補助申請件数	30件	(年間)	0件	16件			
高校通学費補助対象人数	135人	(年間)	136人	0人			

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)			
事業名	子育て応援給付金支給		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	子育て世代の経済的負担の軽減のため、出生時、小学校・中学校入学時に「子育て応援給付金」を交付する。 出生 第1子:3万円、第2子:5万円、第3子:10万円、第4子以降:20万円、 小学校入学:3万円、中学校入学:5万円		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	出生祝い金は、窓口での出生手続きの際申請してもらい、小・中学校へ入学した児童については、町で対象者を抽出し、申請書を送付した。給付金を速やかに支給することにより子育て世代の経済的負担の軽減を図ることができた。 【支給実績】 令和2年度 (出生)26名1,590千円 (入学)小学校:37名1,110千円、中学校:48名2,400千円 令和3年度 (出生)8名540千円 (入学)小学校:32名960千円、中学校:42名2,100千円 ※9月末時点		
R2年度事業費	5,100 千円	主な支出内容	給付金
R3年度事業費	5,042 千円	主な支出内容	給付金
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	
取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)			
事業名	支え合いサポート事業利用料補助		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	社会福祉協議会実施の支え合いサポート事業等の子育てに関する相互援助活動を受けた際にお支払いした利用料の一部を補助する。 1月を単位に、利用料の5分の2の額を補助。(上限5千円、ひとり親世帯等は上限1万円)		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	社会福祉協議会の実施する支え合いサポートの利用料を補助する。 【支給実績】 令和2年度 0件 令和3年度16件 4千円 ※9月末時点		
R2年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R3年度事業費	72 千円	主な支出内容	子育て支援利用料補助金
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

取り組み事業③（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）			
事業名	おむつ用ごみ袋支給		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	2歳未満の乳幼児を養育している家庭におむつ用ごみ袋を無料配布する。 乳幼児1人月5枚を一括配布		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	出生、転入手続きの際に申請手続きをしていただく事により速やかにまた、もれなく対象者へ配布できた。 【支給実績】 令和2年度 32名 3,430枚(出生26名:3,120枚 転入6名:310枚) 令和3年度 11名 1,165枚(出生8名:960枚 転入3名:205枚) ※9月末時点		
R2年度事業費	86 千円	主な支出内容	可燃ごみ袋(中袋) @25*3,430枚
R3年度事業費	90 千円	主な支出内容	可燃ごみ袋(中袋)
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	
取り組み事業④（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）			
事業名	産前産後交通費助成		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	胎児、乳児に疾患等があり遠隔地への医療機関に受診が必要な者に対して、ガソリン代等を助成する。事業開始時は年間10回までの利用回数であったが、入院になった場合頻りに病院に行く必要があり、回数を年間20回までに増やした。対象となる方には、本事業の周知を行うとともに、今後も事業を継続して実施していく。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	令和2年度は対象となる方がいなかったため、実績はなかった。 令和3年度9月末時点で対象者はいない。		
R2年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R3年度事業費	72 千円	主な支出内容	ガソリン代、有料道路代
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	
取り組み事業⑤（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）			
事業名	高校等通学費補助		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	子育て世代の経済的な負担の軽減を図るため、長和町に住所を有し、高校、町外の中学校に通う児童生徒の世帯に対し通学費の補助を行う。 【補助額】()内は遠距離地域の補助額 丸子地域3,500円(5,500円)、立科地域4,000円(6,000円)、その他地域8,000円(10,000円)、下宿(10,000円) 毎年度各家庭へ申請書を送付し補助を行う。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	毎年度、各家庭に申請書を送付し提出を受けて補助金を支給している。令和2年度は136人に補助を行った。 令和3年度においても、9月現在、前期分の申請について受付を行っている。		
R2年度事業費	10,092 千円	主な支出内容	高校通学費の補助金(136人)
R3年度事業費	9,468 千円	主な支出内容	高校通学費の補助金(予定126人)
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	
取り組み事業⑥（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）			
事業名	奨学金制度の充実に関する検討		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	奨学金制度の充実を望む声があることから、給付型奨学金や奨学金の一部免除等について情報収集を行い奨学金制度の充実を検討する。		

総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	情報収集を行っているところである。 奨学金の貸与に関する規則を一部改正し、現在のコロナ禍の経済状況に合わせた改正を行った。(奨学金の貸与について、世帯の所得金額から世帯の状況に応じた控除額を差し差し引いた金額で判定するが、前年所得による判定のため、申請時における当該家庭の支出の増や収入減による事情を考慮した年間金額を控除する方式に一部改正した。)		
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容
R4年度事業費		千円	主な支出内容
R5年度事業費		千円	主な支出内容
R6年度事業費		千円	主な支出内容
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)			
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】			
<p>①子育て応援給付金事業は、出生届時に申請していただく事により速やかに支給できている。また、小・中学校入学時の給付金についても、早期に申請書を送付することにより、速やかに支払いができ子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができた。</p> <p>②支え合いサポート事業利用料補助事業は、社会福祉協議会で実施の支え合いサポート事業を利用する際に、利用料補助事業の案内をしていただいているため速やかに申請が行われている。</p> <p>③おむつ用ごみ袋支給事業は、出生・転入等の手続きの際に申請していただくため、速やかに支給ができ、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができている。</p> <p>④産前産後交通費助成は、対象者に事業の周知ができ、必要な者が利用できている。</p> <p>⑤高校等通学費補助事業は、補助を行うことを通じて子育て世帯の経済的な負担の軽減を図ることができている。</p> <p>⑥奨学金制度の充実に関する検討は、情報収集を行っているが、引き続き行って利用者の負担軽減を目標に検討したい。なお、財源確保の見通しが見つからないと、給付型の奨学金や奨学金の一部免除は困難と思われる。</p>			
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)			
地方創生への効果		今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載			
<p>①子育て応援給付金事業、③おむつ用ごみ袋支給事業は、現状どおり速やかに申請受付・支給することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る事業であるため継続して事業を実施したい。</p> <p>②支え合いサポート事業利用料補助事業は、社会福祉協議会と連携をとりながら制度の周知に努め現行どおり事業を実施したい。</p> <p>④産前産後交通費助成は、今後も対象者に本事業の周知をしていく。</p> <p>⑤高校等通学費補助は、今後も現行どおり事業を進めていく。</p> <p>⑥奨学金制度の充実に関する検討は、引き続き情報収集を行い利用者の負担軽減を目標に検討したい。</p>			

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針			
地方創生への効果		今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
委員からの意見			

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	3-3
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標3 (イ)子育てするための環境や支援の充実	事業担当課・係	教育課人権男女共同参画係				
総合戦略記載内容	②児童館図書室のあり方について再検討し、検討に基づく事業展開を行います。						
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値							
指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
図書館に関する建設検討委員会による検討、施策の実施	施策の実施	(R6時点)	未実施	準備中			
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 ◆建設検討委員会の開催について:令和2年度 未実施(上田広域図書館情報ネットワーク(エコール)の活用を主体とする。) 令和3年度 図書館運営委員会にて図書館整備の在り方について協議する。							
上記KPI達成のために取り組んだ事業							
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)							
事業名	児童館図書室のあり方の検討						
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	長門ふれあい館の図書館は児童館図書室という扱いのため、現状手狭になっている。このことを踏まえ、今後の図書館のあり方について、図書館運営委員会において検討を進める。						
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	【R2年度】 ・令和2年10月から、長門図書館の開館日を毎週月曜日～土曜日とし、日曜日を休館日とする変更を行った。 【R3年度】年度内に運営委員会を開催する。						
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容				
R3年度事業費	87	千円	主な支出内容	図書館運営委員会委員報酬			
R4年度事業費		千円	主な支出内容				
R5年度事業費		千円	主な支出内容				
R6年度事業費		千円	主な支出内容				
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)							
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】							
【R2年度】 図書館運営委員会について、特段協議の必要な事案がなかったため、これまで開催実績がなかった。 【R3年度】 図書館の今後のあり方について、上田広域図書館ネットワークの活用を含め協議が必要と考える。							
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)							
地方創生への効果				今後の取り組み方針			
⑤未実施				②事業を現行(計画)どおり継続して実施			
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載							
町の財政規模や人口等を踏まえ、今後の図書館のあり方について改めて運営委員会で検討していきたい。上田広域図書館ネットワークの更なる活用や、移動型図書館バスの採用など、図書館の新設以外の方法についても検討していきたい。							

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
⑤未実施	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	3-4
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標3 (イ)子育てするための環境や支援の充実	事業担当課・係	教育課学校教育係
総合戦略記載内容	③コミュニティスクール、学校地域支援本部の取り組みを引き続き一体的に進め、地域住民と接し学ぶことを通じ、子どもたちが地域の良さを実感し愛着が高まる中、多様な想像力を生み出すことができるようになるなど大きな学習効果が得られるよう支援します。また、取り組みの情報発信を通じ、活動を支える人材の確保と地域における認知度の向上を図ります。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
コミュニティスクール、学校地域支援本部の取り組み	継続(2校)	(R6時点)	継続(2校)	継続(2校)			

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	和田学校における文部科学省型コミュニティ・スクール事業		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	読み聞かせ・マシン等各種授業支援はもとより、コミュニティスクールという事業の地域における理解を深め、定着を図りたい。読み聞かせ等各種授業支援及び広報用資料の作成を実施していく。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	各種事業支援を実施したほか、広報資料の作成を行い広報ながわに記事を掲載した。令和3年度において、和田小学校では、コロナにより交流事業の中止や延期など活動が制限されており、できる範囲での交流(オンラインによる)に向けて検討している。		
R2年度事業費	280 千円	主な支出内容	運営委員会委員報酬、外部講師謝金、事務用品類、保険代等
R3年度事業費	451 千円	主な支出内容	運営委員会委員報酬、外部講師謝金、事務用品類、保険代、電話料等
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	長門小学校における信州型コミュニティスクール事業		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	読み聞かせ・マシン等各種授業支援はもとより、コミュニティスクールという事業の地域における理解を深め、定着を図りたい。読み聞かせ等各種授業支援及び広報用資料の作成を実施していく。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	各種事業支援を実施したほか、広報資料の作成を行い広報ながわに記事を掲載した。令和3年度において、長門小学校では、コロナにより事業の中止や延期など活動が制限されている。		
R2年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R3年度事業費	56 千円	主な支出内容	委員報酬
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)

総合的な所見【事業の効果、課題、改善策：KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】

コミュニティスクール事業の展開は、様々な体験などを通じ、地域住民と接する中で、地域を知る、見聞を広めるなど子どもたちの豊かな学習につながるとともに、学校と地域の協働により開かれた学校づくりにつながっている。
 広報活動による効果は目に見えるものにはなっていないが、地域の方々の理解が深まり、関心を持った方が活動に加わっていただくなど、人材確保により、コミュニティスクールの活動が活発なものになることを期待したい。

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
<p>現行の取り組みを継続して進めるとともに、活動内容の広報活動を継続し、認知度の向上に努める。</p>	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	3-5
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標3 (イ)子育てするための環境や支援の充実	事業担当課・係	教育課学校教育係
総合戦略記載内容	④子どもたちの学力向上のため、ICT教育等、時代に即した施策や、補完的な学習の場など、ニーズを踏まえた施策を講じ、質の高い教育を実現することで、子どもの数が少ない中でも進学等の際、不利にならないような取り組みを行います。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
ICT教育推進についての検討、施策の実施	施策の実施	(R6時点)	施策実施	施策実施			
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 【令和2年度】ICT機器端末の導入、GIGAスクール用ネットワーク環境の導入 【令和3年度】教員向け研修会の実施。学習ソフトの検討と導入。学習ソフトの支援業務。学習ソフトを全学年で使用できる体制を整備する。							
補完的な学習の場の検討、施策の実施	施策の実施	(R6時点)	未実施	準備中			
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 【令和4年度】依田窪南部地域(小学校)での学習交流の実施。学校交流を含めたオンライン授業の実施。							

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	ICT教育推進についての検討		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	ICT教育の検討を始めると同時に、国によるGIGAスクール構想が打ち出されたため、GIGAスクール構想による事業を実施し、ネットワーク及び端末整備を行う。また、機器整備及び機器を扱う専門家(支援員)の配置等の検討を行い、GIGAスクール構想を通じたICT教育の推進を行う。導入した端末機については、学習ソフトをはじめ、学習に関連する各種教材、プログラミングのアプリ等を導入時有効活用に向けて検討を進めている。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	令和2年度中に国のGIGAスクール構想に伴う事業を活用した機器整備を実施した。あわせて、職員に向けた研修を実施した。令和3年度には、運用支援のためのスクールサポーターを配備し、導入機器が効果的に活用できるよう体制を整えている。		
R2年度事業費	14,027 千円	主な支出内容	端末機器の導入費用、ネットワーク機器購入費用、教師向け研修、機器セットアップ費用
R3年度事業費	2,640 千円	主な支出内容	スクールサポーター配備事業
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	補完的な学習の場の検討		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	GIGAスクール構想により整備された機器を活用して、他校との交流や授業動画の配信等、質の高い学習ができるような検討を進め、具体的な施策を実施する。施策の実施や展開にあたり、方向性や検討課題について協議が必要な場合に小中一貫教育研究及びICT機器整備促進検討委員会にて検討を進める。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	令和2年度にGIGAスクール構想による機器整備を行ったことから、機器を活用した施策の検討を進めている。学習教材について、具体的な検討が行われ、令和3年11月から端末機による学習を開始する予定。他校との学習交流に向けて、検討を進めている。		
R2年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R3年度事業費	94 千円	主な支出内容	委員報酬(小中一貫教育研究及びICT機器整備促進検討委員会)

R4年度事業費	千円	主な支出 内容	
R5年度事業費	千円	主な支出 内容	
R6年度事業費	千円	主な支出 内容	
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)			
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】			
<ul style="list-style-type: none"> ICT教育推進については、国がGIGAスクール構想を打ち出したことにより、機器整備が大きく進んだ。機器の整備により授業や学習への利用が進むものと期待するが、機器の操作や不調時の対応、教員の対応が課題と思われる。また、家庭学習での端末利用については、通信環境整備への対応も必要であり、具体的に検討を進める。 補完的な学習の場の検討については、端末機の利用やオンラインでの授業に向けて検討を進めている。GIGAスクール構想により整備した機器を活用して、依田窪南部地域の他校との交流を進めている。授業動画の配信等、質の高い学習ができるよう検討したい。 			
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)			
地方創生への効果		今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載			
<ul style="list-style-type: none"> ICT教育推進について、機器が整備され、教員向けの研修を実施したが、実際の授業や学習への使用について、課題への対応や支援員の配置を進める。 補完的な学習の場の検討については、整備された機器を活用した施策(オンライン学習、他校との交流、学習意欲が湧く方策等)の具体的な検討を進める。 			

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針			
地方創生への効果		今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
委員からの意見			

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	3-6
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標3 (イ)子育てするための環境や支援の充実	事業担当課・係	教育課人権男女共同参画係
総合戦略記載内容	⑤児童館の利用件数が増加する中、従来の児童館の運営に加え、放課後児童受入れ体制の充実を検討します。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
放課後児童の受け入れ体制充実についての検討、施策の実施	施策の実施	(R6時点)	施策の実施	施策の実施			
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】							
①人員の確保のため、大学生アルバイトを新たに3名募集した。(共立メンテナンスによる包括業務)							
②受入体制の充実を図るため、県主催の放課後児童支援員資格研修に、新規職員1名が参加した。							

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	児童館運営事業						
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	放課後児童クラブ(長門・和田)の適切な運営を行う。						
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	【R2年度】新型コロナウイルス感染症に対応するため、施設内の清掃、除菌の徹底を図り、利用者に対しては手洗い、うがい、消毒、3密を避ける等の感染予防対策を行った。 【R3年度】昨年度に引き続き、コロナ対策として施設内の清掃、除菌、利用者に対し手洗い、うがい、手指消毒及び3密の回避を徹底する。また、職員に対し新型コロナワクチン接種を推奨する。						
R2年度事業費	3,426	千円	主な支出内容	放課後児童クラブ運営に係る経費(食糧費、消耗品、光熱水費等)			
R3年度事業費	3,992	千円	主な支出内容	放課後児童クラブ運営に係る経費(食糧費、消耗品、光熱水費等)			
R4年度事業費		千円	主な支出内容				
R5年度事業費		千円	主な支出内容				
R6年度事業費		千円	主な支出内容				

取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	放課後児童の受け入れ体制の充実						
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	放課後児童クラブを利用する家庭が年々増えている(特に長門)ことや利用内容の多様化等により、指導員への負担増加が課題となっている。課題改善のため、対応する支援員の充実、新規指導員の確保に努めるとともに、指導員が研修に参加する等により質の高い児童館運営を目指す。						
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	【R2年度】長野大学に通う学生に対しアルバイトの募集を行い、7名の学生アルバイトを確保した。 【R3年度】県主催の放課後児童支援員研修に職員1名を参加させ、受入体制の充実を図る。						
R2年度事業費	11,650	千円	主な支出内容	放課後児童クラブ職員にかかる包括業務委託			
R3年度事業費	11,500	千円	主な支出内容	放課後児童クラブ職員にかかる包括業務委託			
R4年度事業費		千円	主な支出内容				
R5年度事業費		千円	主な支出内容				
R6年度事業費		千円	主な支出内容				

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で出てきた課題、課題の改善策)

総合的な所見【事業の効果、課題、改善策：KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】	
利用児童の増加や、新型コロナウイルス対策に合わせて、支援員の増員や施設管理の徹底を図った。	
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
放課後児童クラブの運営については、共働きやひとり親家庭の状況を考慮の上、支援員の増員や施設の改善等、適切な運営に努めていく。	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	3-7
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標3 (イ)子育てするための環境や支援の充実	事業担当課・係	こども・健康推進課子育て支援係・健康づくり係
総合戦略記載内容	⑥子育てに関する相談がしやすい環境を整えます。また、子育てに関する町の取り組みなどが、必要とされている方に確実に届くよう、また町外の方にも取り組みを知っていただけるよう、情報発信の方法を見直します。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
子育てに関する相談件数	300件	(年間)	196件	93件			
情報発信体制の改善検討、施策の実施	施策の実施	(R6時点)	情報発信	情報発信			

【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】
 保健福祉総合センターや子育て支援センターにおける相談事業の継続と、母子手帳アプリの登録を周知し、町の子育て情報を速やかに収集できるように努める。また、母子手帳アプリと子育て支援ホームページの連携により、町内外へ子育て支援策の情報発信をする。

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)			
事業名	子育て支援センターや保健福祉総合センターにおける相談事業		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日午前中の保健センター開放日に、身体測定その他、育児相談や乳幼児食の栄養相談を実施。また、子育て支援センターにおいては、保育士による子育て相談を実施し、関係機関において連携を密に取りながら、相談しやすい体制を整える。 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の下では、人との接触が思うようにできない分、子育てが孤立する傾向にあるため、感染対策をしっかり実施し継続して相談事業を実施していく。 		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・5年間の取り組みの方向性記載のとおり実施。令和2年度はコロナ禍であったが利用者が増加した。 【実績】 令和2年度相談件数 健康づくり係健康相談:134件、子育て支援センター:62件 令和3年度相談件数 健康づくり係健康相談:63件、子育て支援センター:30件 ※9月末時点		
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容
R4年度事業費		千円	主な支出内容
R5年度事業費		千円	主な支出内容
R6年度事業費		千円	主な支出内容
取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)			
事業名	子育てに関する情報発信方法の改善(必要としている方に情報が確実に届く方法、町外への積極的なPR方法の検討)		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・母子手帳アプリを導入し、こどもの成長の記録、予防接種管理、地域の子育て情報、町の情報発信の場として、活用していく。 ・「子育て支援WEB SITE」のリニューアルの検討、ガイドブック等の活用による情報発信への取り組みにより情報発信を改善強化する。 		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・母子手帳アプリの導入(子どもの成長の記録、予防接種管理、地域の子育て情報の発信)、ガイドブック等の活用による情報発信への取り組み、子育て支援WEBSITEのリニューアルの検討等により情報発信の改善強化を進めている。 ・令和2年4月に母子手帳アプリを導入し、令和2年度は登録者数63件であった。 ・令和3年度 母子手帳アプリ新規登録者数6件 ※9月末時点 総登録者数 69件 ・令和3年度 「子育て支援WEB SITE」リニューアル内容の検討、子育てガイドブックの配布40件、子育て支援センターインスタグラムの開設 		
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容
R3年度事業費	641	千円	母子手帳アプリ負担金:245千円 子育て支援ホームページ作成・管理等委託料:396千円
R4年度事業費		千円	主な支出内容

R5年度事業費	千円	主な支出 内容	
R6年度事業費	千円	主な支出 内容	
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)			
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】			
<p>①子育て支援センターや保健福祉総合センターにおける相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあったが感染対策をしっかりと実施し、利用してもらえた。 <p>②子育てに関する情報発信方法の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子手帳交付時にアプリの紹介をし、登録者が増えている。 ・ひとり親世帯等を対象に、子育てガイドブックにより子育て支援策の周知を行った。子育て支援WEBSITEのリニューアルについては、サイトの構成、掲載内容等の検討を行った。 			
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)			
地方創生への効果		今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載			
<p>①保健福祉総合センターや子育て支援センターにおける相談事業については、相談に見える方の来所が多いことから今後も継続して実施していく。</p> <p>②情報発信については、母子手帳アプリの登録を周知し、速やかに町の子育て情報を収集できるように努める。また、母子手帳アプリに連動できるような、新たな子育て支援ホームページ作成し、町内外への子育て支援策の情報発信をする。</p>			

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針			
地方創生への効果		今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
委員からの意見			

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	3-8
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標3 (イ)子育てするための環境や支援の充実	事業担当課・係	こども・健康推進課健康づくり係						
総合戦略記載内容	⑦「産前産後子育てサポーター」の育成を進めるとともに、講座修了者のフォローや再研修によるレベルアップを図り、出産準備・産後ケアの体制を充実させ、妊娠・出産・育児を切れ目なく支援する体制を整えます。								
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値									
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
	産前産後子育てサポーター数	30人	(R6時点)	20人	22人				
上記KPI達成のために取り組んだ事業									
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)									
事業名	産前産後子育てサポーター養成事業								
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化、働く母親の増加、少子化等現代の子育て事情を理解し、母親の育児不安が軽減し、孤立しないよう、妊娠期から子育てを応援してくれる子育てサポーターを養成する。広報等に養成講座の目的、日程、内容、サポーターの役割等について記載し、サポーターを募集する。 ・サポーターを募集しても申込み者が少なかったことから、平成30年度、令和元年度は事業を中止していた。本事業の周知を行い、サポーターを募集・育成し、地域の子育て応援者を増加させる。 								
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本事業を中止とした。 ・令和3年度は、11月に事業を予定している。 								
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容						
R3年度事業費	130	千円	主な支出内容	講師謝礼 1コース5回実施					
R4年度事業費		千円	主な支出内容						
R5年度事業費		千円	主な支出内容						
R6年度事業費		千円	主な支出内容						
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)									
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】									
<ul style="list-style-type: none"> ・第1期総合戦略期間中を含めてこれまでサポーターの養成が進んでいるが、子育て中の母親の相談に乗るということを主な活動として進めている中で、子育てサポーターの活動の幅を広げることができていない。相談活動だけでは、サポーターを十分生かしてきていないため、活動の内容を検討する必要がある。 									
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)									
地方創生への効果		⑤未実施			今後の取り組み方針			②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載									
<ul style="list-style-type: none"> ・今後もサポーターの育成を進めKPIの達成を目指す。また、講座修了者は支え合いサポート(ながわ子育てボランティア)に可能な限り登録してもらい、お子さんの預かりも含め子育て支援センターの応援をもらう。また各種健診、学級時の託児の検討も行う。母親から応援してほしい内容の希望を聞きながら、活動内容を広げていく。 									

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針							
地方創生への効果		⑤未実施		今後の取り組み方針		②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
委員からの意見							

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	3-9
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標3 (イ)子育てするための環境や支援の充実	事業担当課・係	こども・健康推進課子育て支援係・保育園・健康づくり係、教育課男女共同参画係
総合戦略記載内容	⑧第1期総合戦略の取り組みや、ヒアリングを通じた保護者への支援等のニーズ、核家族化等の社会環境の変化や時代の要請を踏まえ、様々な家族のかたちに合わせた子育て環境・支援体制の整備のための施策を展開し、子育ての楽しさを感じながら親子の絆を深められる、また、「子育てするなら長和町で」を実感できる体制づくりをし、こころも身体も元気で思いやりのある子どもが育つまちを目指します。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
子育て支援センター延べ利用人数	7,000人	(年間)	2,810人	1,407人			
保育現場等へのICT利活用の検討、施策の実施	施策の実施	(R6時点)	未実施	実施			
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 民間業者によるICT導入・運用に関するセミナー参加 1回							
病児・病後児保育の体制の検討、施策の実施	施策の実施	(R6時点)	未実施	未実施			
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 定住自立圏病児・病後児保育事業利用状況の確認							

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)			
事業名	ヒアリング結果や利用者の声を踏まえた施設運営の改善(利用者目線に立った質の高い保育園や子育て支援センター、児童館の運営)		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	近年、核家族化や共働き世帯の増加等により、早期からの保育園入園や児童館利用者が増加している。また、利用者のニーズも多様化している。適切な人員配置や研修会への参加等による保育の質の向上に努め、施設運営の改善に努める。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	○児童館: 支援員の資質向上のため、共立メンテナンス主催で、支援員向けの研修を実施した。 ○保育園: 利用者のニーズに対応するため休園日を希望保育に変更し保育日を増加した。また、土曜希望保育や未満児の入園増加に対応するため職員の増員を受け入れ態勢を整えた。保育の質の向上のため、園内研修を実施した。 ○子育て支援センター: 安心・安全に利用できる遊びの場の提供ができるよう、館内やおもちゃの消毒・換気、イベントの見直し等感染症対策を徹底した。インスタグラムを開設し、子育て支援センターの日々の様子を発信した。		
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容
R4年度事業費		千円	主な支出内容
R5年度事業費		千円	主な支出内容
R6年度事業費		千円	主な支出内容
取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)			
事業名	専門職(公認心理士等)の確保や職員の資質向上		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	職員がこどもの特性を理解し、かかわり方について学べるよう、関係部署で専門職の確保に向け連携し取り組んでいく。		

総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに関わる支援者がこどもの特性を理解し、その子にあわせて子どもと関わることができるよう、子育て相談、保育園、小中学校の巡回相談、就学相談を通して子どものよりよい支援ができる体制づくりに取り組んだ。 ・長和町教育支援相談員、健康づくり係、保育園、小中学校、ふれあい館等と連携をもち、支援者がこどもの特性を理解しその子に合わせた支援ができるよう、関係者で支援会議等を開催し、情報共有して支援方法の検討をしている。関係者が連携をとり、支援会議を実施し、支援方法の共有、役割分担することの必要性を理解し実施できている。 ・子育てに係わる関係部署の職員で研修会を実施した。 ・令和3年度も関係部署の職員とテーマを決め研修会を予定しているが、ワクチン接種事業を優先するため未開催である。 ・支援体制強化のため、県主催の放課後児童支援員資格研修に職員1名を参加させる(児童館)。 			
R2年度事業費	20	千円	主な支出内容	研修会講師謝礼
R3年度事業費	20	千円	主な支出内容	研修会講師謝礼
R4年度事業費		千円	主な支出内容	
R5年度事業費		千円	主な支出内容	
R6年度事業費		千円	主な支出内容	
取り組み事業③(事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)				
事業名	保育現場等へのICT利活用の検討			
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	保育現場等でのICT化の導入事例について研究し、町保育園で導入した場合のメリット、デメリット等を検討した上で導入の可否について検討する。			
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	民間事業者によるICT導入・運用セミナーへの参加			
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R4年度事業費		千円	主な支出内容	
R5年度事業費		千円	主な支出内容	
R6年度事業費		千円	主な支出内容	
取り組み事業④(事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)				
事業名	病児・病後児保育の体制の検討			
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	定住自立圏の病児保育事業により、上田病院及び丸子中央病院の病児保育センターの利用ができる。利用状況をみながら、あり方について検討をする。			
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	定住自立圏病児保育事業利用実績 0件			
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容	
R4年度事業費		千円	主な支出内容	
R5年度事業費		千円	主な支出内容	
R6年度事業費		千円	主な支出内容	

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)	
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】	
<p>①施設運営の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度放課後児童クラブ職員向けの研修会を実施することにより、必要な知識や意識の向上を図ることができた。 ・保育園については、土曜希望保育及び夕方保育の希望者増加による受け入れ態勢の強化、平日の休園日を見直し希望保育とした。また、今年度は新型コロナウイルスの影響で各研修会が中止または延期になってしまい、研修会への参加が少なくなっているが、園内研修などを実施した。 ・子育て支援センターについては、安心、安全に利用できる遊びの場等の提供ができるよう、館内やおもちゃの消毒、換気等を行い、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し運営を行っている。令和2年度より引き続き利用者を町内の方に限定するなどの運営のためKPIは達成できていない。インスタグラムの開設により、子育て支援センターの日々の様子を発信することができた。 <p>②関係者で情報共有し、その子に合わせた支援方法を検討できる体制が整備できた。</p> <p>③保育現場等へのICT化の導入の検討については、オンラインセミナーへ参加をし、活用方法、運用費用(月額、導入費用は別途)などの話を聞いた。実際に導入している園等の活用方法、メリットデメリットなど業務にあたる保育士の生の声を把握したい。導入するならどのような機能が必要か、保育士の意見(必要に応じては保護者の意見)の聞き取りなどを行い、ICTへの理解を深め、導入について検討していく。</p> <p>④病児・病後児保育の体制の検討については、コロナ禍により実施できていない。</p>	
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
<p>①施設運営の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共働き世帯、ひとり親世帯の増加等、児童育成の環境の変化に対し適切な対応ができるよう、職員の質の向上を図り、放課後児童クラブの環境を整えていきたい。 ・子育て支援センターは、引き続き、感染症対策に細心の注意を払いつつ、子育て中の親子の交流や育児に関する相談、イベントの開催などにより安心して子育てができる体制を整え継続して事業を実施していく。また、インスタグラムにより日々の様子や子育て支援情報の発信をしていく。 <p>②今後も関係者で情報共有し、その子に合わせた支援ができるよう検討し、研修していく。</p> <p>③保育現場へのICT利活用については、引き続きICT化により実際に何が出来るのか、どのような活用方法があるのか等情報を収集し検討していく。また、活用している市町村の話を聞くなどし検討材料としたい。</p> <p>④病児・病後児保育の体制については、引き続き上田病院、丸子中央病院の病児保育センターの利用状況を見つつ、今後の体制についての検討をする。</p>	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	4-1
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標4 (ア)協働のまちづくりの推進	事業担当課・係	企画財政課まちづくり政策係					
総合戦略記載内容	①住民自治基本条例に関する町民の理解を深め、協働のまちづくりを推進します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	協働のまちづくりに関する理解を深めるための講演会等の事業実施数	3回	(5年累計)	累計0回	累計0回			
	協働のまちづくりに関する理解を深めるための講演会参加人数	300名	(5年累計)	累計0名	累計0名			
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	協働のまちづくり推進のための講演会開催							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	住民自治基本条例に関する町民の理解を深め、協働のまちづくりを進めるため、高齢者に安心な地域づくりや支えあい等をテーマとした講演会を開催する。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R4年度事業費		千円	主な支出内容					
R5年度事業費		千円	主な支出内容					
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果		⑤未実施			今後の取り組み方針			
					②事業を現行(計画)どおり継続して実施			
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
新型コロナウイルス感染症の状況を判断しながら、開催内容や開催方法を検討し、機会を捉えて実施する。なお、令和3年10月10日に町民運動会の代替イベントとして、教育委員会と共催で、まちづくり講演会として「長和町スポーツ講演会」を実施する予定としていたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となった。今後の開催について、教育委員会と連携を取り検討を行う。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針					
地方創生への効果		⑤未実施		今後の取り組み方針	
				②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
委員からの意見					

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	4-2
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標4 (イ)安全・安心なまちづくり	事業担当課・係	総務課総務係					
総合戦略記載内容	①住民の防災に対する意識の変革、地域の防災意識の向上、災害時に自助・共助の精神で自主的避難ができる体制の整備を目指し、町内各地区における自主防災組織の設立、住民主導型警戒避難体制の構築を進め、災害に強いまちづくりを目指します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	自主防災組織を設置する行政区	100%	(R6時点)	60% (新規4区)	60%			
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	自主防災組織の設立推進支援							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	・自主防災組織が設置されていない地区において、地区防災会議、区長会を開催し、自主防災組織設置に向け住民意識の向上と理解を図る。また、防災リーダーとして、自主防災組織の中心となって活動することが期待される防災士の資格取得補助金要綱を制定する。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・令和2年8月に要綱制定。9月補正において防災士養成講座資格取得補助金30,000円×5名(150,000円)議決。新型コロナの影響により、養成講座が中止になるなど、1名のみ交付となった。令和3年度は、コロナの影響もあり要望無し。 ・令和2年度は長久保14区など計4地区が自主防災組織を新規設置。令和3年度は、コロナの影響もあり要望無し。							
R2年度事業費	30	千円	主な支出内容	防災士資格取得補助金(1名)				
R3年度事業費	150	千円	主な支出内容	防災士資格取得補助金(5名)				
R4年度事業費		千円	主な支出内容					
R5年度事業費		千円	主な支出内容					
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	住民主導型警戒避難体制構築支援							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	・自主防災組織と地区懇談会を実施し、地域住民を主体とした防災の取り組みを推進するため、災害時に住民自ら避難する具体的な避難体制を構築する地区ハザードマップを作成する。(長野県との連携事業)							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・令和2年度は県事業として3地区要望。(立岩自治会、長久保14区、橋場区)コロナの影響により、会議等の開催が難しく、結果として長久保14区のみ地区ハザードマップを作成した。 ・令和3年度は、立岩自治会が要望しており、作成に向け協議を行っている。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R4年度事業費		千円	主な支出内容					
R5年度事業費		千円	主な支出内容					
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な取り組みにより、住民の防災意識は向上しており、自主防災組織の立ち上げや地区ハザードマップの作成など、一定の成果を上げている。 ・令和3年度は新型コロナの影響により防災士補助金の募集が十分におこなえず、9月末で0件である。また、自主防災組織の立ち上げも進んでいないため、新型コロナの状況に注視しつつ、事業を進めていく。 ・地区防災マップの作成については、9月末時点で1件の要望が出ており、協議を進めているが、コロナ拡大により勉強会が中止になるなど影響が出ている。会議の開催方法等を工夫しながら進めていく。 								

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
<ul style="list-style-type: none"> ・消防団OBや区長へ防災士資格取得を呼びかけて自主防災組織の活性化を図る。 ・住民主導型警戒避難体制構築は自主防災組織の設立が前提として必要である。内容にある目的の達成には、まず、自主防災組織率を高める必要があるため、自主防災組織の設立の推進を図る。 	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	4-3
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標4 (イ)安全・安心なまちづくり	事業担当課・係	町民福祉課生活環境係 企画財政課管財係				
総合戦略記載内容	②公共施設等に防犯カメラの設置を進め、子どもや高齢者の見守り体制の充実を図ります。						
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値							
指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
公共施設、通学路等防犯カメラ設置箇所の総合的な検討、設置	設置	(R6時点)	累計:新設1基(計5基)	累計:新設1基(計5基)			
【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】 令和2年度において、新たに1基の新設を行い、防犯カメラ設置箇所は計5基となった。また、令和3年度についても、新設1基を予定している。							
上記KPI達成のために取り組んだ事業							
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)							
事業名	防犯カメラ設置事業						
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	公共施設・通学路等の主要箇所2か所へ新たに防犯カメラを設置するとともに、既存5基の防犯カメラの維持管理を行う。						
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	これまで、町内の児童及び学生が登下校時に利用する通学路を対象として、計5基の防犯カメラの設置を行った。						
R2年度事業費	548 千円	主な支出内容	防犯カメラ設置工事:244千円、防犯カメラ利用料:291千円、防犯カメラ電気料:13千円				
R3年度事業費	836 千円	主な支出内容	防犯カメラ設置工事:374千円、防犯カメラ利用料:436千円、防犯カメラ電気料:26千円				
R4年度事業費	千円	主な支出内容					
R5年度事業費	千円	主な支出内容					
R6年度事業費	千円	主な支出内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)							
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】							
・令和2年度に1基を新たに設置したことにより、設置総数が5基となった。これまで以上に児童・生徒の様子を把握するとともに、不審者等を監視することができ、安全・安心な町づくりにつながった。また、令和3年度においては、町内の小学校と設置場所に関する協議を行い、新たに1基を設置することとした。また、防犯カメラ設置促進事業の一環として、上田地域の4市町村とガイドードリンク株式会社と協定を締結し、新たに設置する自動販売機の売上金の一部を用いて、各市町村の小学校に防犯カメラを設置する取組を進めることとなった。							
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)							
地方創生への効果				今後の取り組み方針			
①地方創生に非常に効果的であった				②事業を現行(計画)どおり継続して実施			
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載							
・今年度も引き続き防犯カメラの設置を行い、子どもや高齢者の見守り体制の充実を図り、安全・安心な町づくりに努めていく。 ・併せて、町内の小学校への防犯カメラ設置を進められるよう、自動販売機の設置が可能な場所や、企業等の調査・検討を行う。							

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
①地方創生に非常に効果的であった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	4-4
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標4（ウ）時代に適合した公共施設の整備・あり方の検討	事業担当課・係	企画財政課管財係					
総合戦略記載内容	①公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画を策定し、人口減少に対応した公共施設のあり方を目指します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定	計画の策定	(R6時点)	策定済	-	-	-	-
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	各施設の個別施設計画の策定							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定を令和2年度中に行うとともに、策定済みの公共施設等総合管理計画の改定を行う。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	総務省より示されている令和2年度までの個別施設計画策定のため、現地調査、ヒアリング等を実施し計画策定を行った。							
R2年度事業費	13,739 千円	主な支出内容	業務委託料 13,739千円					
R3年度事業費	0 千円	主な支出内容						
R4年度事業費	千円	主な支出内容						
R5年度事業費	千円	主な支出内容						
R6年度事業費	千円	主な支出内容						
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
平成28年度に策定した総合管理計画の基本方針を踏まえて、ライフサイクルコストの縮減及び財政負担の平準化を図ることを目的とし、建築士による現地調査や施設担当者へのヒアリング等を実施のうえ、安全安心な公共施設サービスの提供や持続可能な財政運営を目指して、施設毎のソフト・ハード面の実情を反映した個別施設ごとの中・長期計画となる当計画の策定を行った。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果		今後の取り組み方針						
③地方創生に効果があった		⑤予定どおり終了						
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
令和2年度中に、公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定が終了した。 今後は、事業の進捗状況、劣化調査などの結果を反映しながら、定期的な計画の見直しを実施するとともに、当計画に基づく対策効果を反映した経費見込により、公共施設等総合管理計画の改定を行う必要がある。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	⑤予定どおり終了
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	4-5
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標4（ウ）時代に適合した公共施設の整備・あり方の検討	事業担当課・係	町民福祉課生活環境係					
総合戦略記載内容	②町内にある公園の遊具や設備を改善し、子どもから高齢者まで誰でも利用しやすい魅力的な公園を整備します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	既存公園等の改修・整備箇所数	1か所	(5年累計)	累計0か所	累計0か所			
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	町内公園の遊具・設備の改善検討、実施							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	各公園施設の遊具や設備等の状況を確認し、各公園のあり方を含め改善方法等を検討するとともに、子どもから高齢者までが利用しやすい公園のあり方を検討する。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	各公園のあり方を含め、町としての公園のあり方を係内で検討。							
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容					
R3年度事業費	300	千円	主な支出内容	いこいの丘公園、水明の里公園、水処理センター内公園遊具撤去:300千円				
R4年度事業費		千円	主な支出内容					
R5年度事業費		千円	主な支出内容					
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	既存公園の維持管理							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	既存公園「いこいの丘公園」、「水明の里公園」、「長門水処理センター公園」及び付帯施設を継続的に維持管理する。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	既存公園「いこいの丘公園」、「水明の里公園」、「長門水処理センター公園」及び付帯施設の維持管理を行った。							
R2年度事業費	1,664	千円	主な支出内容	芝刈り・除草・剪定・トイレ清掃等:860千円、芝維持管理:621千円、公園光熱水費等:183千円				
R3年度事業費	2,095	千円	主な支出内容	芝刈り・除草・剪定・トイレ清掃等:1,338千円、芝維持管理:621千円、公園光熱水費等:136千円				
R4年度事業費		千円	主な支出内容					
R5年度事業費		千円	主な支出内容					
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
①町として公園の将来性を総合的に検討する必要があるが、現段階において関係部署との具体的な検討・協議に至っていない。								
②引き続き維持管理を行う。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果				今後の取り組み方針				
③地方創生に効果があった				②事業を現行(計画)どおり継続して実施				
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								

既存公園のあり方を検討しつつ、遊具・設備を今後どのように扱うか町としての方向付けを行う。

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	4-6
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標4 (エ)時代に対応した公共交通網の検討	事業担当課・係	総務課総務係、産業振興課商工観光係
総合戦略記載内容	①公共交通審議会において協議した結果を踏まえた新公共交通体制による運行を開始し、利用者のニーズを踏まえながら、時代に対応した公共交通網、高齢者の安心を支え交通の空白地帯をなくす公共交通網を構築し、免許がなくても生活ができる町を目指します。また、観光客の利便性を向上するための検討を行います。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
町内巡回バスの利用者数	36,000人	(年間)	25,763人 (新型コロナウイルス感染症・学校の休校による減)	12,625人 (9/30まで)			

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	町内巡回バス(ながわごん)運行		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	令和2年10月から新公共交通体制での運行を開始したが、巡回バスを利用する方からの要望・意見や利用状況等を把握し、随時ダイヤ改正を行うなど利便性と効率性の向上を図る。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	公共交通審議会で協議した答申を踏まえ、令和2年10月から新公共交通体制での運行を開始した。 ・ワゴン車による支線道路までの曜日別運行開始 ・マルメロの駅ながと内の直売所前までの運行開始 ・白樺湖線及び立科線(学者村別荘地内)を運行したことにより、上田駅に加え、乗り換えにより茅野駅・佐久平駅までの接続が可能となった。 ・愛着と親しみをもって利用促進となるよう愛称を「ながわごん」とし、女子美術大学の学生に制作いただいた長和らしいラッピングデザインとロゴマークを巡回バス・ワゴン車に施した。 ・R3.8 JRバスと利用者アンケートを行った。結果をまとめダイヤ改正等を検討したい。		
R2年度事業費	87,960 千円	主な支出内容	巡回バス運行委託(64,089千円)、巡回ワゴン車5台購入(23,541千円)、時刻表作成(330千円)
R3年度事業費	58,837 千円	主な支出内容	巡回バス運行委託(58,394千円)、時刻表作成(330千円)、公共交通審議会(113千円)
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名	観光客の利便性向上のための検討		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	・観光客、中山道を歩く方、別荘への往来が上田駅・茅野駅・佐久平駅から効率的かつ便利になるダイヤとする。 ・公共交通で長和町に来れることを広くPRしていく。 ・白樺湖線については、東白樺湖を経由するルートへ変更の検討を行う。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・鷹山～姫木～西白樺湖までの白樺湖線を観光シーズン等の特定期間において午前と午後各1往復の運行を開始したことで茅野駅に接続できるようになった。 ・マルメロの駅ながと～依田窪病院～学者村別荘地内～立科町役場～ツルヤ立科店までの学者村・立科線を週2日間の午前と午後各1往復の運行を開始したことで佐久平駅に接続できるようになった。 ・上田駅との巡回バスの接続を図り、観光客や別荘への往来に利用いただけるようになった。		
R2年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R3年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	

R6年度事業費	千円	主な支出 内容
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)		
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】		
<p>①町内巡回バス(ながわごん)運行事業は、高齢者等公共交通を必要とする方のニーズを踏まえ、利便性と効率性のよい新公共交通として町内巡回バスダイヤを再編した。曜日別運行となることによる不都合等も生じるとの声もあるため、今後も住民皆様の声をいただき、より使いやすいダイヤに随時改正していく。</p> <p>②観光客の利便性向上のための検討は、白樺湖線と立科線を新たに運行し、茅野駅と佐久平駅との接続を図ったダイヤとしたことで、観光客や別荘への往来に利用いただきたい。利用状況により増便等も検討したい。</p>		
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)		
地方創生への効果		今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載		
<p>①町内巡回バス(ながわごん)運行事業は、巡回バスを利用する方からの要望・意見や利用状況等を把握し、随時ダイヤ改正を行うなど利便性と効率性の向上を図る。また、今後の長和町に適した公共交通体制を検討していく。</p> <p>②観光客の利便性向上のための検討は、観光客、中山道を歩く方、別荘への往来が上田駅・茅野駅・佐久平駅から効率的かつ便利になるダイヤとし、公共交通で長和町に来れることをPRしていく。</p>		

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針		
地方創生への効果		今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見		

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	4-7
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標4（オ）健康長寿のまちづくりと生活を支える仕組みの充実	事業担当課・係	こども・健康推進課健康づくり係、町民福祉課高齢者支援係・保険係、教育課社会教育係
総合戦略記載内容	①町民誰もが健康でいきいきとした生活を送り、長生きできるよう、健康増進計画に基づき、町民の健康づくりを進めます。そのために、行政組織内の各部署が連携を取り、保健事業や介護予防事業等を、効果的・効率的に実施するため、一体的に事業を展開できるよう再検討します。このことにより、町民それぞれのライフステージに合った（各年代の課題に沿った）健康増進事業を展開します。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
国保特定健康診査受診率	50%	(R6時点)	28.3%	28.7% (9月末現在)			
高血圧者の割合	維持 (130mmHg以上47.0%、 85mmHg以上23.0%)	(R6時点)	130mmHg以上 52.7%、 85mmHg以上 27.5% (令和元年度実績)	130mmHg以上 53.8%、 85mmHg以上 28.2% (9月末現在)			
運動に関係した生涯学習教室の参加者数	維持(3,900人)	(年間)	116人	116人			
高齢者に占める要介護1以上の割合	17.0%	(R6時点)	15.8%	15.6%			
いきいきサロンの参加者数	1,566人	(年間)	1,398人	627人			

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）			
事業名	ライフステージに合った健康増進事業の展開		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・長和町は特定健康診査における肥満、血圧、血糖値の高い者の割合が高い。40歳から64歳では運動習慣のある者の割合も低い。健康づくりへの意識づけとなるよう、18歳から64歳を対象に筋肉量測定を実施し、自分の筋肉量を知ることによって運動習慣につながるよう取り組む。また、高血圧はすべての生活習慣病との関わりがあるため、乳幼児をもつ母親を対象に減塩事業に取り組む。 ・受診率の向上について、コロナの地域圏内での感染状況によることもあり、難しいことが予想されるが、感染防止対策を確実に実行し、安心安全に健診を受けていただけるよう、取り組んでいく。今後も若い世代を対象に、筋肉量測定、減塩事業を実施し健康づくりに取り組んでいく。 		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度はコロナの感染拡大防止の観点から、積極的に参加を募ることができなかったが、18歳から64歳を対象に115名の筋肉量測定を実施した。また、乳幼児をもつ母親を対象とした減塩事業には、22名の参加があった。 ・令和3年度は、新型コロナワクチン接種を優先するため、筋肉量測定・減塩事業はできていない。 		
R2年度事業費	1,272 千円	主な支出内容	体組成計の購入、筋肉量測定に伴う理学療法士委託料、減塩事業に伴う管理栄養士委託料、
R3年度事業費	140 千円	主な支出内容	理学療法士委託料、管理栄養士委託料、尿中ナトリウム測定
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	
取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）			
事業名	関係する部署の各事業(保健事業、介護予防事業等)の一体的な展開に向けた連携体制、実施方法の検討		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度の健診結果から糖尿病、高血圧の未治療者、治療中断者を抽出。現状を把握し、医療機関と連携し治療につなげられるようにする。健康づくり係と高齢者支援係が連携して取り組む。 		

総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は国保連合会のKDBシステム(国保データベースシステム)を活用し、長和町の後期高齢者の健康課題を抽出し、令和3年度に向け活動内容の検討を実施した。 ・令和3年度は、KDBシステムのデータを元に関連部署と担当者会議を実施し、高齢者の健康課題を共有した。 		
R2年度事業費	0	千円	主な支出内容
R3年度事業費	0	千円	主な支出内容
R4年度事業費		千円	主な支出内容
R5年度事業費		千円	主な支出内容
R6年度事業費		千円	主な支出内容
取り組み事業③(事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)			
事業名	健康に対する意識高揚や動機づけ(運動の習慣化等)、健診受診率の向上のための情報発信体制の強化(その1)		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化に伴い、スポーツ教室への入会者が年々減少傾向にある。加えて新型コロナウイルスの感染拡大は、各世代のスポーツに親しむ機会に対して大きな足かせとなっている。今後十分な感染対策を前提とし、気軽に、楽しみながら体を動かすことができる機会を設けていく(町民ハイキング、スポーツ講演会等)。 		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月からの1か月間ほどは、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、生涯学習教室(スポーツ教室等)は活動を休止していたが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら6月から活動を再開した。体育施設の入口には手指消毒用アルコールを設置し、備品は利用時に消毒、手すり等不特定多数の人が触れる場所は体育館管理人に消毒をもらい、感染対策をとった。また、令和3年度は「町民運動会」の特別企画として「長和町スポーツ講演会」を企画した。コロナ禍の中でもできる企画として計画した事業であったが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、中止となった。コロナ対策は今後も継続して実施する。 		
R2年度事業費	1,998	千円	主な支出内容 講師謝礼、指導者報酬、保険料、保険振込手数料等
R3年度事業費	1,575	千円	主な支出内容 講師謝礼、指導者報酬、保険料、保険振込手数料等
R4年度事業費		千円	主な支出内容
R5年度事業費		千円	主な支出内容
R6年度事業費		千円	主な支出内容
取り組み事業④(事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)			
事業名	健康に対する意識高揚や動機づけ(運動の習慣化等)、健診受診率の向上のための情報発信体制の強化(その2)		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの感染拡大防止に努め、安心して健診を受けていただけるようにする。健康ポイント付与内容の充実を図り、健康づくりへの意識が高まるように努める。また、健診を受けるメリットなど広報等を活用し周知していく。 		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・健診結果から自分の生活習慣を振り返るきっかけとして、国民健康保険ポイント事業のポイント付与内容に生活習慣病に関する血液の改善が見られたらポイントを付加、町民ハイキング等スポーツ事業参加時に付加など他部署とも協力し、運動への意識が高まるようにした。また、広報に低額で充実した内容の健診を提供していること、健診結果からの町の健康課題、健診受診者は未受診者よりも医療費が低いことなどを周知し、受診率向上を図っている。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人間ドックの受診者数を例年の半分にしたことにより、受診率が大幅に減少した。令和3年度は感染防止対策を徹底し、通常の検査体制をとっている。 		
R2年度事業費	14,624	千円	主な支出内容 人間ドック、地区特定健診委託料
R3年度事業費	25,719	千円	主な支出内容 人間ドック、地区特定健診委託料
R4年度事業費		千円	主な支出内容
R5年度事業費		千円	主な支出内容
R6年度事業費		千円	主な支出内容
取り組み事業⑤(事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)			
事業名	依田窪病院と連携した事業の実施		

5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	・今後も若い世代を対象に、依田窪病院の理学療法士、管理栄養士、検査室の協力をいただき、筋肉量測定、減塩事業を実施し若い時から健康づくりに取り組んでいくことができるようにする。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	<p>①18歳～65歳未満を対象に、筋肉量を測定した。自分の筋肉量を知り、運動の動機づけになるよう、測定の結果から自分にあった運動方法を依田窪病院の理学療法士に指導してもらい、継続して運動ができるよう取り組んだ。令和2年度115人実施。</p> <p>②乳幼児期の子どもをもつ母親を対象に減塩事業を実施、汁物の塩分測定、尿中ナトリウム測定を行い、自分の塩分摂取の実態を知り、減塩方法について、依田窪病院管理栄養士より指導してもらった。令和2年度22人実施。</p> <p>・令和2年度はコロナ禍での実施となり、密を避けるため、積極的に参加者を募ることができなかった。</p> <p>③令和3年度は新型コロナワクチン接種事業の主体課であるため、事業の計画がたがわず未実施となっている。</p>		
R2年度事業費	1,272 千円	主な支出内容	体組成計の購入、筋肉量測定に伴う理学療法士委託料、減塩事業に伴う管理栄養士委託料、
R3年度事業費	140 千円	主な支出内容	理学療法士委託料、管理栄養士委託料、尿中ナトリウム測定
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	
取り組み事業⑥(事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)			
事業名	一般介護予防事業		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	・介護予防教室(元気アップ教室、はつらつ運動教室)、いきいきサロン等を実施し、高齢者の介護予防に対する意識の向上、運動・口腔機能の維持向上、社会参加を促すことにより、健康寿命の延伸を目指す。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	<p>・新型コロナ感染症の影響により、教室やサロンを中止することもあったが、感染症対策を強化して継続実施するよう努めた。</p> <p>・R3年度より、リハビリ専門職派遣事業を開始し、住民の主体的な介護予防の取組を支援した。</p>		
R2年度事業費	2,123 千円	主な支出内容	委託料(長和町社会福祉協議会、依田窪病院)
R3年度事業費	4,400 千円	主な支出内容	委託料(長和町社会福祉協議会、依田窪病院)
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)			
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】			
<p>①事業を通じて自分の筋肉量、塩分摂取量を知ることで、自身の生活改善につながる者がでてきている。</p> <p>②KDBシステム(国保データベースシステム)より後期高齢者の健康課題を抽出できた。</p> <p>③新型コロナ感染状況は依然厳しい状況であるが、対策を実施しながら、生涯学習教室(スポーツ教室等)が開催数を増やすことができた。(一部の大会やイベントについては、開催を見送り、教室については一時休止したものがある。)</p> <p>④コロナの感染拡大防止のため、人間ドックは対象者を従来の半分の人数に実施したため、受診率が減少した。</p> <p>⑤若い世代を対象に筋肉量測定、減塩事業を実施したことにより、健康づくりへの第一歩につながった。</p> <p>⑥感染症の影響により中止することもあったが、状況を見ながら事業を継続している。リハビリ専門職派遣事業は、住民6グループの利用があり、継続的な運動・社会参加の場となっている。</p>			
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)			
地方創生への効果	今後の取り組み方針		
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施		
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載			
<p>①今後も事業の継続により、ライフステージにあった健康増進事業を実施していく。</p> <p>②健康づくり係と高齢者支援係が連携し、後期高齢者の疾病の重症化予防に努める。</p> <p>③新型コロナウィルス対策を十分に行いながら、住民がスポーツに親しめるような場を設ける。</p> <p>④安心して健診を受けられるよう感染拡大防止に努め、疾病の早期発見、重症化予防のため、受診率の向上を目指す。</p> <p>⑤若い世代を対象に筋肉量測定、減塩事業を実施し、若い時から健康づくりへの意識を高めていく。筋肉量測定、減塩事業は効果が認められるため継続事業として開催できるよう体制の見直し等をおこない実施したい。</p> <p>⑥引き続き感染症対策を行いながら教室やサロンを継続し、住民の社会参加と感染予防の両立を目指す。リハビリ専門職派遣事業は、利用者が増えるよう周知を進めていく。</p>			

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	4-8
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標4（オ）健康長寿のまちづくりと生活を支える仕組みの充実	事業担当課・係	町民福祉課福祉係
総合戦略記載内容	②支え合いサポート事業を充実させ、生活課題の解決に取り組むと同時に、活動を支えるボランティアの育成を図ります。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
支え合いサポート事業利用件数	630件	(年間)	545件	309件			
社会福祉協議会にボランティアとして登録する人数	300人	(R6時点)	309人	304人			

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）			
事業名	支え合いサポート事業		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	<ul style="list-style-type: none"> 支え合いサポート事業(生活の軽易な困りごとの解消として、買い物代行、洗濯等の家事のお手伝い)を充実させ、生活課題の解決に取り組むと同時に、研修等実施し活動を支えるボランティアの育成を図る。 長和町社会福祉協議会に委託して事業を実施する。 		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活の軽易な困りごとの解消のため、長和町社会福祉協議会とボランティアと連携して、買い物等の支援事業を実施。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア育成研修が計画通りにできなかった。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もなく、昨年度より利用者が増えている。ボランティアについては引き続き広報等により周知募集を行っている。 		
R2年度事業費	3,769 千円	主な支出内容	社会福祉協議会委託料(職員人件費等事務費)
R3年度事業費	3,869 千円	主な支出内容	社会福祉協議会委託料(職員人件費等事務費)
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)

総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】
<ul style="list-style-type: none"> 支え合いサポート事業については広報誌を活用し、引き続き利用者を募集している。なお、活動を支えるボランティアの高齢化が課題となっている。

KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)

地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載	
<ul style="list-style-type: none"> 広報活動に取り組み、生活課題のある方へのサポートを進める。また、ボランティアの高齢化が課題となっているため、新規ボランティアの加入に向け周知を図る。 	

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	<ul style="list-style-type: none"> お年寄りの方が自宅からながわごんが通っている道まで歩いて行くことが難しく、近所の方に送迎をお願いしているという事例がある。そのような話を聞いた際に社協でお手伝いいただけるサービスがあると話をすると、支え合いサポート事業の広報・周知を充分に行ってほしい。

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	4-9
------	-------	------	-----

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標4（オ）健康長寿のまちづくりと生活を支える仕組みの充実	事業担当課・係	町民福祉課高齢者支援係					
総合戦略記載内容	③地域住民主体の通いの場を更に創出し、地域での困りごとの解決、助け合いの仕組みづくりに取り組みます。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	地域における通いの場の箇所数	18か所	(R6時点)	9か所	11か所			
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	地域介護予防活動支援事業							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	住民主体の通いの場の立ち上げや活動継続を支援する。地域で介護予防活動に取り組む介護予防ボランティア(ながわおたっしやサポーター)を育成し、地域で介護予防を推進する活動につなげる。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	介護予防ボランティア(ながわおたっしやサポーター)の研修を実施した。サポーターは、サロン等通いの場に向いて体操するなどの活動を進めている。							
R2年度事業費	432	千円	主な支出内容	長和町社会福祉協議会委託料				
R3年度事業費	705	千円	主な支出内容	長和町社会福祉協議会委託料				
R4年度事業費		千円	主な支出内容					
R5年度事業費		千円	主な支出内容					
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）								
事業名	生活支援コーディネーター業務(地域住民主体の通いの場の充実)							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	生活支援コーディネーターは、地域高齢者のニーズ把握、地域の関係者とのネットワーク構築、高齢者が担い手として活動する場づくりなどを行う。地域のニーズに合わせて、通いの場の開設や支え合いの地域づくりを進める。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	生活支援コーディネーター等の働きかけにより、住民主体の通いの場が2か所開設された。地域のつながりの強化を目的に、サロンや趣味の会、井戸端会議など、少人数でも集まりがあれば出向いて活動を把握し、活動の意義を伝えている。地域での支え合いの意識を高めるために、いきいきサロンボランティアを対象に交流研修会を実施した。							
R2年度事業費	2,697	千円	主な支出内容	長和町社会福祉協議会委託料				
R3年度事業費	3,152	千円	主な支出内容	長和町社会福祉協議会委託料				
R4年度事業費		千円	主な支出内容					
R5年度事業費		千円	主な支出内容					
R6年度事業費		千円	主な支出内容					
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
①地域介護予防活動支援事業 感染症の影響はあるが、ながわおたっしやサポーターによる地域での介護予防推進活動が進められている。								
②生活支援コーディネーター業務 通いの場が2か所開設された。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果				今後の取り組み方針				
③地方創生に効果があった				②事業を現行(計画)どおり継続して実施				
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								

- ①地域介護予防活動支援事業 住民主体の通いの場活動の立ち上げや活動の継続を支援していく。介護予防ボランティアの活動がより発展するよう、研修等を通して支援していく。
- ②生活支援コーディネーター業務 通いの場の開設が進むよう、地域のニーズや状況に合わせて支援をしていく。

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	4-10
------	-------	------	------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標4 (カ)医療体制の維持	事業担当課・係	子ども・健康推進課健康づくり係					
総合戦略記載内容	①地域の安心のため、国保依田窪病院の運営を支援します。また、各種事業等で専門職が積極的に地域へ出ることで病院と地域のつながりをより深めます。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	国保依田窪病院の受診者数	60,174人	(年間)	51,983人	26,800人			
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	国保依田窪病院(依田窪医療福祉事務組合)への負担金の支出							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・国保依田窪病院へ負担金を支出し、継続して運営支援を行う。 ・国保依田窪病院を維持していくためには、県内外からの患者も多い整形外科と総合的な診療ができる内科の存続が必要となる。中でも、高齢により自身で病院に通えない、送迎する家族がいないなどの理由から必要な時に必要な医療を受けられない方が生じないよう、訪問医療(診療、看護、リハビリ等)の更なる充実に取り組み、令和2年4月に地域包括ケア病棟へと機能転換をした病棟運営とともに経営の改善を図っていく。 ・令和3年度は、内科医師が増員され、新型コロナウイルス感染症対策をおこないながら安心した医療が提供されている。病院のPRをできるよう検討していく。 							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国保依田窪病院の運営に関しては、高齢者と人口減少が進む長和町を含む周辺地域において、安心して暮らしていくために必要なインフラとして捉え、総務省が示す地方公営企業繰り出し基準による負担の他、必要な医療機器等の更新、整備に伴う費用を長和町と上田市において負担しながら維持をしている。採算が取りにくい地域において、また、人口に比して入院可能な医療機関が他圏域より少ない上小医療圏においても必要となる病院である。経営改善に向けては、常勤医師の確保と高齢者が多い地域に即した医療提供の充実に課題となる。 ・病院と地域のつながりを深めていくことについては、「基本目標4(オ)健康長寿のまちづくりと生活を支える仕組みの充実」①の項目における、取り組み事業⑤(依田窪病院と連携した事業の実施)のとおりで、運動機能向上教室事業に理学療法士28回、筋肉量測定に理学療法士22回、減塩事業に管理栄養士16回の派遣を受けた。 ・令和3年度の筋肉量測定と減塩事業は新型コロナウイルスワクチン接種を優先したため実施できていない。 ・新型コロナウイルスワクチン接種について、国保依田窪病院の協力を得て早めに接種を完了することができた。(接種率85%※9月末現在) 							
R2年度事業費	352,144 千円	主な支出内容	依田窪医療福祉事務組合運営費に対する負担金					
R3年度事業費	360,219 千円	主な支出内容	依田窪医療福祉事務組合運営費に対する負担金					
R4年度事業費	千円	主な支出内容						
R5年度事業費	千円	主な支出内容						
R6年度事業費	千円	主な支出内容						
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響で受診を控えた人もいたと思われる。しかし、上小地域における公立病院としての役割を果たすことで、国からの補助があり経営的には令和2年度は改善した。今後も上小地域での公立病院としての役割も果たしていく。 ・令和3年度に向けて内科医師の確保ができた。今後も整形外科医、麻酔科医の確保に取り組んでいく。 ・病院と地域のつながりを深めていくことについては、「基本目標4(オ)健康長寿のまちづくりと生活を支える仕組みの充実」①の項目における総合的な所見のとおり。 								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果		今後の取り組み方針						
③地方創生に効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施						
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								

・令和3年4月より念願であった総合診療科の医師が常勤となり、内科常勤医師が2名増員となった。今後、整形外科医と麻酔科医の常勤医師の確保が課題である。

・訪問診療、訪問看護にも力を入れ、令和2年度の利用者実績は伸びている。地域包括ケア病棟へと機能転換した病棟経営については、コロナ禍により分析が難しい状況である。

・地域において大切な病院なので、今後も経営改善に向け、住民が受診しやすく、住民の希望に添える病院となるよう、病院、行政、地域で検討を重ねて行く。

・病院と地域のつながりを深めていくことについては、「基本目標4(才)健康長寿のまちづくりと生活を支える仕組みの充実」①の項目における自己評価のとおり。

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	4-11
------	-------	------	------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標4 (キ)安心な暮らしを守るための空き家対策	事業担当課・係	町民福祉課生活環境係					
総合戦略記載内容	①「長和町空き家等の適正管理に関する条例」及び同施行規則を活用し、空き家となっている危険家屋への対応を適切に行うとともに、施行規則に規定する補助金の運用についても検討し、美しい町並みを保つことを目指します。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	危険家屋の残存件数	維持(90件)	(R6時点)	90件	90件			
	空き家等に対する指導件数	90件	(5年累計)	累計2件	累計2件			
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	空き家等対策計画の策定							
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	空家等対策協議会を設置し、危険家屋(特定空家等)に対する措置の方針を定めた「長和町空家等対策計画」を策定する。							
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・令和2年度に協議会委員の選定を行い、第1回長和町空家等対策協議会を開催した。							
R2年度事業費	222 千円	主な支出内容	長和町空家等対策協議会委員報酬・費用弁償:222千円					
R3年度事業費	117 千円	主な支出内容	長和町空家等対策協議会委員報酬・費用弁償:117千円					
R4年度事業費	千円	主な支出内容						
R5年度事業費	千円	主な支出内容						
R6年度事業費	千円	主な支出内容						
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
・協議会委員の選任を行い、令和2年度末に第1回長和町空家等対策協議会を開催したが、空家等への対策や計画の策定には至っていない。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果		③地方創生に効果があった			今後の取り組み方針			
					②事業を現行(計画)どおり継続して実施			
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
・総合的な所見欄に記載したとおり、令和2年度末に空家等対策協議会を設置し、第1回協議会を開催したが、長期間放置され周辺環境にも大きな影響を及ぼしている管理不全な空き家等に対する具体的な対策や、計画の策定には至っていない。今後、計画の策定を進め、特定空家等に対する総合的な取組を進める。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針					
地方創生への効果		③地方創生に効果があった		今後の取り組み方針	
				②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
委員からの意見					

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	4-12-1
------	-------	------	--------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標4 (ク)道の駅マルメロの駅ながと、和田宿ステーションの魅力向上	事業担当課・係	産業振興課特産品開発係
総合戦略記載内容	①観光客をはじめ大勢の人が集う「道の駅マルメロの駅ながと」、「和田宿ステーション」を地域の拠点と考え、整備・改修した施設を活用し、魅力向上に取り組みます。マルメロの駅ながとにおいては、大型農畜産物直売所を核とした複合施設を活用し、直売所、体験農場、レンタルオフィス、チャレンジショップの各事業を展開することにより、農業をはじめとした地域産業の活性化、都市農村交流の活発化、利用者のニーズを考慮した買い物の利便性の向上、情報発信等、様々な角度からの地域振興に取り組みます。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
大型農畜産物直売所売上高	156,000千円	(年間)	157,904千円	113,500千円			
大型農畜産物直売所出荷農業者数	200人	(R6時点)	245人	255人			
レンタルオフィス及びチャレンジショップの新規出店数	3件	(R6時点)	4件	4件			
体験農場利用者数	400人	(年間)	0人	0人			
地域活性化に資するイベント来場者数	1,150人	(年間)	500人	0人			

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名 長和町道の駅エリア再整備による地域農業・地域産業活性化事業【地方創生拠点整備交付金事業】(令和元年度)

5年間の取り組みの方向性(取り組み内容) ・令和元年度に地方創生拠点整備交付金事業として、道の駅マルメロの駅ながと内に、大型農畜産物直売所のほか、下屋と足湯を整備した。農業者等の所得向上及び道の駅エリアの中核となる施設として大型農畜産物直売所を核とし、加工研究室、体験農場管理室、レンタルオフィス、チャレンジショップの機能をあわせ持つ複合施設を整備。更に「マルメロの駅ながと」に隣接する商業エリアとの一体化に向けた施設整備として、道の駅直売所及び商業エリアに点在する店舗間の歩道に屋根を設置するとともに休憩スペースを充実させ、また、滞在できる道の駅エリアの一つの要素として足湯を整備した。

総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容 ・第2期総合戦略期間においては、整備した大型農畜産物直売所を核とした複合施設を活用し、直売所・体験農場・レンタルオフィス・チャレンジショップの各事業を展開し、農業をはじめとした地域産業の活性化都市農村交流の活性化、利用者のニーズを考慮した買い物の利便性の向上、情報発信等、様々な角度から地域振興に取り組み、KPIの達成を目指す。

(参考)R元年度事業費 399,841 千円 主な支出内容 補助対象外も含む全体事業費 大型農畜産物直売所建設・下屋建設(362,793千円)、足湯建設(23,870千円)、設計監理(13,178千円)

取り組み事業② (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)

事業名 長和町道の駅エリアを核とした地域農業・地域産業活性化事業【地方創生推進交付金事業】(令和元年度から令和3年度)

5年間の取り組みの方向性(取り組み内容) ・令和元年度から令和3年度にかけて、地方創生推進交付金事業として、大型農畜産物直売所を核とした複合施設を活用し、直売所・体験農場・レンタルオフィス・チャレンジショップの各事業を展開し、農業をはじめとした地域産業の活性化、都市農村交流の活性化、利用者のニーズを考慮した買い物の利便性の向上、情報発信等、様々な角度から地域振興に取り組む。

総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容 ・地方創生推進交付金を活用し、体験農場立案・圃場整備・募集を実施、広告宣伝としてホームページ構築、機関誌等への掲載、ECサイト制作準備、折り込み等、オリジナルTシャツ制作を実施、イベント開催負担金を活用し道の駅エリア全体でコラボイベントを実施。また来場者数のカウント・集客エリアの分析・直売所商品動向をデータとして集積する為、カメラソリューションシステムを構築した。

(参考)R元年度事業費 36,755 千円 主な支出内容 販売管理システム構築委託(30,360千円)、施設内機器リース料(225千円)、窓口機能人材活動委託(1,200千円)、体験農場開設準備委託(1,000千円)、車両購入(3,970千円)

R2年度事業費	25,295 千円	主な支出内容	施設内機器リース料(2,695千円)、集客力向上のための体制整備:カメラソリューション機能構築(11,000千円)、窓口機能人材活動委託(4,800千円)、道の駅活性化事業補助金(体験農場運営委託・イベント開催負担金・直売所広報宣伝費等)(6,800千円)
R3年度事業費	12,000 千円	主な支出内容	施設内機器リース料(2,400千円)、窓口機能人材活動委託(4,800千円)、道の駅活性化事業補助金(体験農場運営委託・イベント開催負担金・直売所広報宣伝費等)(4,800千円)
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)			
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】			
<p>①体験農場において新型コロナウイルス感染症の影響が大きく実施に至らなかった。(令和3年度においても緊急事態宣言の影響により申込者がいない。)募集までは実施したものの緊急事態宣言が続く中、事業展開をどう対策していくかが課題。直売所売上げは目標を大きく上回り成果を得たが、生産者数に対し出荷者が伸び悩み原因の究明と対策に課題がある。</p> <p>②カメラソリューションシステムの構築により、来場者数のカウント・集客エリアの分析・直売所商品動向をデータとして集積する事が可能になった。</p>			
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)			
地方創生への効果		今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載			
<p>・令和3年度は、地方創生推進交付金事業最終年度となる。体験農場、直売所売上げ、利用者数向上の為、広告宣伝、実施可能なイベントの開催を行いKPI達成を目指す。カメラソリューションシステムの構築により、来場者数のカウント・集客エリアの分析・直売所商品動向をデータとして集積する事が可能になったことを活かし、更にデータを集積しながら経営に活用していく。</p>			

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針			
地方創生への効果		今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
委員からの意見			

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	4-12-2
------	-------	------	--------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標 及び主な施策	基本目標4 (ク)道の駅マルメロの駅ながと、和田宿ステーションの魅力向上		事業担当課・ 係	産業振興課特産品開発係				
総合戦略記載 内容	①観光客をはじめ大勢の人が集う「道の駅マルメロの駅ながと」、「和田宿ステーション」を地域の拠点と考え、整備・改修した施設を活用し、魅力向上に取り組みます。							
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値								
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	和田宿ステーション利用者数	70,000人	(年間)	6,200人	9,900人			
上記KPI達成のために取り組んだ事業								
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)								
事業名	和田宿ステーションの整備							
5年間の取り組みの 方向性(取り組み内 容)	・令和元年度に改修(出荷ブースの拡大等のリニューアル)した施設を活用して集客に努める。 ・和田宿ステーションの道の駅化を図り、施設・周辺整備等のハード面を充実させ、更なる集客を目指す。							
総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容	・新型コロナウイルス感染症の影響がある中ではあったが、改修した施設を活用し、集客に努めた。							
R2年度事業費	2,706 千円	主な支出 内容	光熱水費、指定管理料					
R3年度事業費	2,706 千円	主な支出 内容	光熱水費、指定管理料					
R4年度事業費	千円	主な支出 内容						
R5年度事業費	千円	主な支出 内容						
R6年度事業費	千円	主な支出 内容						
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)								
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】								
・新型コロナウイルス感染症の影響により利用者、収益共に大幅に減少している。イベントも自粛せざるを得ない状況にある。 ・キャンペーン隊による物品販売イベントの特産品準備に全面的な協力を行い、他事業との連携を図った。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響が昨年より大きく厳しい状況が続いている。								
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)								
地方創生への効果			今後の取り組み方針					
③地方創生に効果があった			②事業を現行(計画)どおり継続して実施					
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載								
・道の駅化を目指し、建設事務所・長野国道事務所と連携を密にし、実現を図る。トイレ老朽化が見受けられ道の駅化に併せ整備が必要な為、起債等財源模索を行う。								

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
③地方創生に効果があった	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの 意見	

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	4-13
------	-------	------	------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標4（ケ）時代に合った別荘地づくり	事業担当課・係	建設水道課別荘係、総務課大門支所係
総合戦略記載内容	①別荘マスタープランを策定し、時代に合った別荘地の運営に努めます。		

重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
別荘マスタープラン策定、内容に基づく施策の実施	プランによる実施	(R6時点)	マスタープラン策定済	経営委員会開催に向け準備中			

【R6目標値が「施策の実施」等、数値目標が明確でない場合の各年度の具体的な取り組み目標及び成果】

令和2年度：長和町別荘地マスタープランの策定

令和3年度以降：別荘地マスタープランについて経営委員会による効果検証の実施、別荘地マスタープランに基づく長和町観光施設特別会計における経営戦略の策定、経営戦略に基づく事業の実施

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）

事業名	長和町別荘地マスタープラン策定事業		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	・町内には、町営や財産区営の別荘が5,000区画あり、その多くが産業構造の変化や景気後退などによる経済情勢の変化などにより、解約区画の増加、所有者の世代交代など大きな時代の流れの中で転換期を迎えている。これらの別荘地が、将来にわたって健全で安定した管理運営を継続していくための方策をマスタープランで示し、別荘地が町全体の大切な資源として活用されるよう、今の時代が求める魅力的な別荘地を創造していく。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、策定委員会の書面開催、コンサル業者とのリモート打ち合わせを行い原案を策定、課題を洗い出し目指すべき方向性や施策の検討にあたっては、オーナー様や若い世代の皆様へのアンケートを実施、財産区や地域おこし協力隊などとのヒアリングを通じ様々なご意見をいただき、パブリックコメントの募集も行った上で、令和3年3月12日「長和町別荘地マスタープラン」が完成した。		
R2年度事業費	557 千円	主な支出内容	策定委託料、委員報酬、旅費
R3年度事業費	100 千円	主な支出内容	経営委員会 委員報酬、旅費
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）

事業名	策定内容に沿った各施策の実施		
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	・将来にわたって健全で安定した管理運営を継続していくための方策をマスタープランで示し、別荘地が町全体の大切な資源として活用されるよう、今の時代が求める魅力的な別荘地を創造していく。 ・令和3年3月に長和町別荘マスタープランが策定されたことを受け、令和3年度以降に経営委員会による効果検証及び長和町観光施設事業特別会計経営戦略の策定、経営戦略に基づく事業の実施を行う。		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	・経営委員会の開催(効果検証の実施)に向け準備を行っている。		
R2年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R3年度事業費	500 千円	主な支出内容	「長和町観光施設事業特別会計経営戦略」の策定
R4年度事業費	千円	主な支出内容	

R5年度事業費	千円	主な支出 内容	
R6年度事業費	千円	主な支出 内容	
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)			
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】			
<p>・長和町別荘地マスタープラン策定事業は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令などで、オーナー様の大半を占める都市部からの移動が制限されるなど別荘地を取り巻く環境も大きく変化した。一方、感染防止を目的とした在宅勤務やリモートオフィスなどの新しいワークスタイルや近距離滞在型リゾートなどの需要増加に伴い、別荘地がそれらのアイテムの一つとして見直されてきている。マスタープランにおいてもそれらの現状を反映した計画となった。</p> <p>・策定内容に沿った各施策の実施について、経営委員会による効果検証、経営戦略の策定に向け準備を行っている。</p>			
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)			
地方創生への効果		今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載			
<p>・町内の別荘地が地方創生の総合戦略の一翼を担える、長和町政発展のまちづくり資産として位置づけるために、次代を担う新テーマを《～「別荘の町 NAGAWA」の再構築を目指し～》とし、新しい別荘地像の創造と町政と一体となった別荘地運営を推進するための目標を、各財産区との協議、直営別荘地経営委員会において発展させていく。今後は、「長和町観光施設事業特別会計における経営戦略」を策定し、広く公表していく。</p>			

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針			
地方創生への効果		今後の取り組み方針	
③地方創生に効果があった		②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
委員からの意見			

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	4-14
------	-------	------	------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標4 (コ)ふるさと納税制度の活用	事業担当課・係	企画財政課管財係						
総合戦略記載内容	①ふるさと納税のPRを積極的に行い、寄附金額の増額を目指すとともに、寄附された資金をもとに地域課題の解決や返礼品による地域経済の活性化に取り組みます。								
重要業績評価指標(KPI)の内容と令和6年度目標値・各年度実績値									
	指標	R6目標値	(考え方)	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
	ふるさと納税金額	40,000千円	(5年累計)	累計26,215千円	累計29,155千円				
上記KPI達成のために取り組んだ事業									
取り組み事業① (事業名、事業内容、事業費・主な支出内容)									
事業名	ふるさと納税事業								
5年間の取り組みの方向性(取り組み内容)	返礼品の拡充を検討し、寄付金額の増加を目指していく。								
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	令和2年度は、延べ1,998人の方から26,215,727円のふるさと納税寄附があり全額をふるさと納税基金へ積立をした。令和3年度は9月末時点で、延べ202人の方から2,939,510円の寄附申込があった。								
R2年度事業費	40,205 千円	主な支出内容	支援業務委託料 11,998千円、システム使用料 1,648千円、ふるさと納税基金積立金 26,216千円						
R3年度事業費	28,204 千円	主な支出内容	支援業務委託料 8,815千円、システム使用料 1,268千円、ふるさと納税基金積立金 18,000千円						
R4年度事業費	千円	主な支出内容							
R5年度事業費	千円	主な支出内容							
R6年度事業費	千円	主な支出内容							
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)									
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】									
令和2年度のふるさと納税寄付金額は、前年度と比べ5,540千円、26.8%の増加となった。新型コロナウイルス感染拡大に伴うテレワークの普及や巣ごもり需要等から全国的にふるさと納税の受入額、受入件数が増加した。									
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)									
地方創生への効果		①地方創生に非常に効果的であった			今後の取り組み方針			②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
今後の取り組み内容: 今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載									
ふるさと納税の利用者は年々増加しており、令和2年度の全国実績は6,725億円となり前年度比で約1.4倍、件数は3,489万件で同1.5倍となっている。より魅力的な返礼品が追加できるよう他部署とも連携を取り、寄付額の増加を図る。									

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針							
地方創生への効果		①地方創生に非常に効果的であった		今後の取り組み方針		②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
委員からの意見							

第2期「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業効果検証資料

資料種別	R3中間用	整理番号	4-15
------	-------	------	------

1 これまでの取り組み経過及び自己評価

基本目標及び主な施策	基本目標4（サ）コミュニティ施設の整備による地域共生社会の実現とSDGsの実践	事業担当課・係	町民福祉課福祉係、教育課社会教育係（ほか関係各課が連携）
総合戦略記載内容	①地域共生社会の実現とSDGs（「持続可能な開発目標」）の実践のため、従来の公民館的機能（講堂、会議室、調理室等）に加え、コワーキングスペースも備えたコミュニティカフェ等を備えたコミュニティ施設を整備します。施設では、それぞれの部屋を有機的に連携させ、障がい者雇用の創出、多様な働き方（働き方改革）の支援、地域住民等の交流拡大、地場産品の消費拡大、放課後児童受入れによる子育て支援、子ども食堂運営による子どもの貧困対策、高齢者をはじめ全世代を対象とした町民への効果的な健康増進事業の実施による健康長寿のまちづくり、機能を強化した避難所、地域（近隣市を含む）の中学校・高校・大学（依田窪南部中学校、丸子修学館高校、長野大学等）と連携し、福祉教育のフィールドワークを受け入れるなど福祉分野における人材育成の場として活用します。		

重要業績評価指標（KPI）の内容と令和6年度目標値・各年度実績値

指標	R6目標値	（考え方）	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
障がい者を中心とした雇用創出者数	4人	（R6時点）	0人	0人			
コミュニティカフェ利用人数	1,800人	（年間）	0人	0人			
コミュニティカフェ売上高	1,800千円	（年間）	0千円	0千円			

上記KPI達成のために取り組んだ事業

取り組み事業①（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）

事業名	地域共生社会実現のためのコミュニティ施設整備事業【地方創生拠点整備交付金事業】（令和2年度繰越令和3年度）		
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生社会の実現とSDGs（「持続可能な開発目標」）の実践のため、従来の公民館的機能に加え、コワーキングスペースも備えたコミュニティカフェ等を備えたコミュニティ施設を整備する。施設の具体的な活用としては、上記、「総合戦略記載内容」とおり。 ・古町地区への山の子学園共同村の移転が予定されており、運営する社会福祉法人と連携しながら、現在の古町公民館の敷地に事業目的である地域共生社会の実現とSDGsの実践を目指したコミュニティ施設を建設するものである。 ・施設整備の財源として、地方創生拠点整備交付金の獲得を目指す。 ・本施設の整備に関連した取り組み（住民説明、基本協定の締結等）を行う。 ・整備された施設は、施設の目的に沿って関係機関が協力し、有効に活用する。 		
総合戦略開始時点からこれまでの取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度においては、古町地区住民への説明を行い、施設建設に向けた準備を進めることとし、山の子学園共同村の移転について、土地賃貸借を含む基本協定を締結した。また、国の補正予算において措置された地方創生拠点整備交付金の獲得に向け、施設整備計画の作成を行い、国への申請の結果、採択された。令和2年度中に交付金の交付決定を受け、令和3年度に繰越事業として実施。 ・古町公民館解体工事が令和3年7月末完了。9月30日現在、完了後の敷地内遺跡発掘調査中。 		
R2年度事業費	0 千円	主な支出内容	
R3年度事業費	368,434 千円	主な支出内容	【コミュニティ建設費用】施設建設費290,620千円・外構工事19,360千円・Wifi環境整備工事5,500千円・付帯工事1,155千円・他関連経費1,343千円・設計費7,500千円 【建設予定地発掘調査による基礎補強工事】設計費363千円・工事費11,000千円 【古町公民館解体及び関連費用】（解体）39,490千円・設計費1,200千円・その他2,266千円
R4年度事業費	千円	主な支出内容	
R5年度事業費	千円	主な支出内容	
R6年度事業費	千円	主な支出内容	

取り組み事業②（事業名、事業内容、事業費・主な支出内容）

事業名	（上記による施設の運営事業：施設整備後に記載）		
5年間の取り組みの方向性（取り組み内容）			

総合戦略開始時点 からこれまでの取り 組み内容			
R2年度事業費	千円	主な支出 内容	
R3年度事業費	千円	主な支出 内容	
R4年度事業費	千円	主な支出 内容	
R5年度事業費	千円	主な支出 内容	
R6年度事業費	千円	主な支出 内容	
上記の取り組みに対する総合的な所見(事業の効果、各事業の取り組みの中で見えてきた課題、課題の改善策)			
総合的な所見【事業の効果、課題、改善策:KPIの達成ができた場合はその要因、未達成の場合にはその理由を含めて】			
・施設整備に向けた準備(住民説明、基本協定の締結、地方創生拠点整備交付金の申請等)が順調に進み、現段階(令和3年10月現在)で建設予定地の発掘調査が鋭意進められているが、完了次第、施設建設に着手する。			
KPI達成状況や取り組み事業を踏まえた地方創生への効果及び今後の取り組み方針(自己評価)			
地方創生への効果		今後の取り組み方針	
⑤未実施		②事業を現行(計画)どおり継続して実施	
今後の取り組み内容:今後の取り組み内容(事業計画)を改善の方向性も踏まえて記載			
・令和3年度に施設を建設する。施設完成後は目的に沿って関係機関が協力し、有効に活用する。			

2 地方創生推進協議会による効果検証結果

地方創生への効果及び今後の取り組み方針	
地方創生への効果	今後の取り組み方針
⑤未実施	②事業を現行(計画)どおり継続して実施
委員からの意見	